京城日報

十一日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

○寺内新首相の記者招待

席上挨拶の大要

寺内新首相は十日午後零時三十分永田町の官邸に都下新聞通信社長等より成る春秋會員百三十餘名を招待し就任披露を兼ね午餐會を催ふし席上首相は一場の挨拶を爲したるが其の大要左の如し(東京特電=延著)

(前略)惟ふに帝國の今日は徒らに太平を謳歌し安逸を貪るの秋に非ず内は庶政を釐革し國本を培養し外は信義を重じ折衝を愼み擧國一致以て將に來らんとする幾多の艱難に當り帝國を泰山の安きに置き以て東洋の平和を永遠に保障せざる可からず一念爰に至れば寤寐常に安からざるものあり今大命を拜し謹んで政機に參する所以のものは區々の微衷國家の前途を憂愼し匪躬の節を盡し憲政の正道に則り聖命の諮問に答へ奉らんが爲めのみ然れども予短才菲徳にして政務に當るは或は恐る事志と違はんを幸にして至尊の明徳を仰ぎ下は國民の聲援を得て此の難局に處し國政を燮理することを得ば予の初志を達成するに庶幾し(下略)

○地方長官の更迭

林井上兩東拓理事任官說

岡田樺太長官の警視總監に轉任せると警保局長の辭職並に川上熊本坂本山梨兩縣知事既に辭表を提出せる結果其補充の爲め地方長官に交迭行はるべく其が爲には内務部長級より知事に榮轉する者ある可きを以て勢ひ内務部長級以下にも昇進ある可きが此處兩三日中に地方官全般に亘り小異動を免れざる可し又林市藏井上孝哉兩東拓理事は新に地方長官に任命せらる可しとの說あり(東京特電)

○警保局長

後任永田知事說

湯淺内務次官警保局長の後任詮衡中の處愈々三重縣知事永田秀次郎氏に決定任命せらる可しと云ふ(東京特電)

すとの說多し(東京電報)

○山縣元帥歸臥

歸京中の山縣公は政變一段落を告げしを以て十日小田原古稀庵に歸臥せり(東京電報)

○新黨役員

既電の如く新政黨結黨式は十日築地精養軒に於て擧行されたるが其の際總裁指名の下に決定せし重なる役員の氏名左の如し(東京特電)

▲總務 尾崎行雄、高田早苗、武富時敏、若槻禮次郎、片岡直温、安達謙藏、濱口雄幸(以上七名)

▲幹事長 富田幸次郎

▲幹事 十五名(姓名省略)

○華族世襲財産審議員

華族世襲財産法並に附帶法規は十日より施行に就き同法施行規則第三十六條の規程に依り左の如く宮内勅任官より二名有爵者より五名の審議會員並に同會長一名の任命ありたり(東京特電延著)

宮内次官 石原健三
内藏頭 山崎四男六
公爵 德川慶久
侯爵 細川護立
伯爵 柳原義光
子爵 牧野忠篤
男爵 有地品之允
華族世襲財産審議會員被仰付(各通)

華族世襲財産審議會々員
華族世襲財産審議會議長被仰付
公爵 德川慶久

○隈侯の元老問題

大隈侯の元老待遇に關する問題は優詔に依り其解釋區々に亙り元老たら

○近衛公襲任か

公爵近衞秀麿氏は十二日を以て滿二十五歳に達するを以て同日貴族院議員に襲任す可しと傳へらる(東京特電)

○米大統領に獨帝親書

駐米獨逸大使ベルンストルフ伯九日午後大統領に會見しポーランド人救助問題に關する獨帝よりの親書を傳達したり大使は大統領と共の他の件に就て談話を交換せしも其内容は發表せず會見は僅かに十五分間にて終れり(紐育電報)

○獨潜艇の跳梁と商議

米國々務卿ランシング氏は十日ウヰルソン氏の別莊に赴き獨逸潜航艇の跳梁に關し商議す(紐育電報)

○米國聯合國の主張を拒む

米國國務省顧問は言明して曰く米國政府は聯合國側の希望たる中立國は其商船たると軍艦たるとを問はず總ての潜航艇に對し自國の諸港の使用を拒否す可しとの主張の容認を拒めり(紐育電報)

○希臘海軍全部革黨に

希臘海軍は全部國民革命黨に投じたりとの說あり(紐育電報)

○水雷を受けし佛塞陸軍

二千人弱の佛塞兩軍兵を搭載せる佛國補助巡洋艦は敵艇より水雷を發射せられ今迄の所千三百六十二名サルヂニヤの南部海岸に上陸し艦體は四日沈沒せり水雷は艦内火藥庫に爆發し無線電信を破壞し救助を求むるに由無く乘組員は艦體の破片に取縋りて漂流し五日漸くにして佛國巡洋艦に出會ひたり(巴里電報)

○副總統選擧と討論

愈々十二日參衆兩院は副總統選擧を速に擧行す可しとの提議に對し討論する事に確定せり(北京電報)

○支那叙勳

九日附總統令にて孫文氏に大勳位蔡鍔、唐繼堯、陸榮廷、梁啓超、黄興、岑春煊氏等に勳一等を始めとし現内閣員北京及び各省の文武官第三革命の功勞者等に對し位記勳章を授け又北京駐剳の日露獨各公使に一等嘉禾章を贈與せり(北京電報)

○徐州會議再會

張勳等は北京政府より解散を命ぜられたるに拘らず第二回目の徐州會議を開きたりとの說あり(上海電報)

○張作霖渡日說

奉天督軍張作霖は時機を見て日本觀光の爲渡日すべき意ありと(奉天特電)

○妻木博士危篤

工學博士妻木頼黄氏病氣危篤なりと(東京電報)

雄を隨へ十日午前八時步兵第七十七聯隊を視察し瑞氣山公園より市中を展望したる後女子高等普通學校を參觀し其より乙密臺の戰跡牡丹臺の佳勝を探ぐり牧の茶屋にて休憩晝食を了へ鐵舫に乘じ大同江を下り税關波止場より上陸し直に自動車に乘じ停車場に向ひ午後三時二十分平壤驛發北行列車にて安東縣に向ひたり停車場には工藤平南道長官、向井檢事長、島山覆審法院長、大橋商議會頭、宮川五郎三郎氏其他重なる官民有志の見送り盛なりし

○石塚長官歸期

東上中なりし農商工部長官石塚英藏氏は小藤を隨へ十二日東京驛發列車に搭乘途中京都に一泊し十五日夜南大門驛着歸任の事となれり

總督別辭

九日寺内内閣の成立するや山縣政務總監は部下一同を代表し寺内首相に宛て、祝電を發したるに寺内首相は十日午後十時東京發着電を寄せしは既報の通りなるが其の全文左の如し

貴電拜承不肖今回内閣組織の大命を拜し恐懼已むなし、一意奉公以て聖明に答へ奉らむと欲す、顧みて惟ふに不肖任に朝鮮に莅みし以後既に六年を經過し幸に大過なきを得たるは偏に各位の援助に依るもの多し、今任を去るに臨み一言の辭を述べむとするも匆々の際其の餘裕なきを遺憾とす、各位願はくば自愛して益々職務に勉勵し既定の施政方針に遵ひ大に治績を擧げられんことを希望す、又特に臨み聊か希望を述べて告別と爲す

右本府及び所屬官署に傳達あらむことを乞ふ。

○金谷府尹の祝電

寺内内閣の成立に對し金谷京城府尹は京城府民を代表して内閣の成立を賀し閣下の御健康を祈るとの意味の祝電を發したるに對し總督より折返し御懇電を感謝すとの返電に接したりと

○露總領事館午餐會

京城駐在露國總領事ルッツ氏令妹は十一日午後零時三十分より總領事館に午餐會を開きたるが一部の領事團及び小松翰長菱田通譯官天野等出席せり

○電報料金低減

遞信省にては海底電線所有關係各會社と協定の末十月一日より左記各地行き電報料は一語に付十一錢宛を低減する事となり從て朝鮮發信も同じく低下されたり

一、香港以遠渡海各地
二、香港經由呂宋ビサヤ及ミンダナオ各地
三、イースタン(歐羅巴經由を除く)及びシヤワ線經由大洋洲各地
四、上海線經由(歐羅巴經由を除く)亞弗利加各地

左記各地は一語九錢の低減なり

香港 (六十三錢)(改正前七十二錢)
澳門 (七十三錢)(改正前八十二錢)

○岡本遞信技師陞叙

遞信技師岡本桂次郎氏に對し左の辭令ありたり

遞信技師正五位勳四等 岡本桂次郎
叙勳三等授瑞寶章

○露領視察員消息

京城商業會議所の露領視察員の一行は九日迄長春に滯在中なりしが同日午後同地發哈爾賓に向ひたる旨京城會議所宛通信ありたり哈爾賓には三四日間の視察を爲して奥地に向ふ筈なりと而して今回露國政府が奢澤品の輸入を禁止し十一月二日より實施すること、なりたるため或は前記視察員に於て日本商品を托したる人々にして輸入禁止の故障を蒙るやも知れずと思ふ者ある樣なれども一行は該法令實施以前に露領に入り夫れ迄に全部配布を行ふこと、なるべければ此點に付ては何等の懸念を要せざるべし

○朝郵重役會

朝鮮郵船會社にては十二日會社樓上に重役會を開き第五期前半期決算案を附議し其結果各株主に通知狀を發し二十六日總會を開會すべしとの事なるが十二日は原田社長吉田専務大池堀山口深尾各取締役出席すべしと

○木村理事東上

朝鮮銀行理事木村雄次氏は大原秘書役帶同十日午後七時五十分南大門驛發汽車にて東上の途に就けり

○金谷府尹の視察

廨員及び龍山元町方面に於ける虎疫狀況視察のため金谷京城府尹は十一日午後一時より同方面に出張せり

○城局の工事終了期

豫て補修工事中なりし京城郵便局は十一月中を以て全部の工程を終る筈にて更に適當の機會に於て煉瓦倉庫を建築すべしと

○小林副會頭歸職

平壤商業會議所副會頭小林長太郎氏は永らく内地視察中の處此程歸職したるが十日七星館に平壤の重なる人士を招待し副會頭披露の宴を張りたり

○故秋山視學官葬儀延期

總督府視學官故秋山鐵太郎氏の葬儀は十二日執行の筈なりしも郷里より葬儀に參列する親戚の者連絡船缺航のため渡鮮し得ず止を得ず一日延期し十三日午後五時より執行すること、なりたりと

○京城公立小學校長會

京城學校組合にては十一日午前十時より管内七小學校長を召集し立太子式奉祝其他數件に就き協議したり

清津

▲國分長官視察 國分司法部長官深澤監獄課長の一行は一日立神丸にて清津上陸一泊翌二日會寧に向け出發同支廳の事務視察を了へ四日歸清五日鏡城に赴き六日歸清當支廳の事務視察を爲し七日立神丸にて歸京の筈▲主計正檢閲 駐剳軍龍山倉庫長假塚主計正は倉庫檢閲の爲め一日琴平丸にて清津上陸羅南に赴きたるが羅南支廳檢査後富寧郡海岸の燥草採取地を視察の筈なり又た駐剳軍經理部大角主計正は羅南營兵舍工事檢査の爲め一日來北せり▲清津神社秋季大祭 清津神社にては十月一日午前十一時より秋季祭典を執行せるが當日市中は國旗軒燈を揭げて甚だ賑かなりき▲間島金融機關 間島に金融機關設置の急務は多年清津會寧地方貿易業者の唱導せし所にて其急設を切望し居たるが今回總督府大江理財課長の間島視察は同用件を帶び居るやの說ありしが同課長の視察調査せる結果として近き將來に於て會寧鮮銀派出所樣の形式に於て間島に金融機關を設置するの要あり其時期は清會鐵道開通後に於てせられんと▲梨津港燈 本年七月來工事中なりし咸北富寧郡梨津港頭の掛燈工事は九月二十日竣功點燈試驗を行ひたるに成績良好なるを以て十月五日より點燈する事となれり

北滿へ

勝村長城

◇長春より(九日)

南大門より六百九十哩を馳せて今朝長春に著し候、奉天に比して氣温甚だしく低からずと雖も、渺茫たる平野は既に冬の色に彩られ、高粱、粟等いづれも收穫を終り候、長春には演習の爲め北軍集合し、市にては兵士歡迎の爲め何れも國旗を掲げ、演習に對する市中の噂は恰も實戰の前の如く熱心なるもの有之候、東清鐵道は一日一回の外發車いたさず甚だ不便に御座候、小生は本日午後三時四十分長春發列車にて、東清鐵道窰門まで參る豫定に御座候、匆々

仁川

▲防疫隊一部引揚 總監部より來援したる巡査及び巡査補三十名は十一日引揚げたり▲聯合大賣出 仁川吳服商組合にては十一日より十三日迄の三日間聯合大賣出を開始したるが店頭仲々の賑ひを呈しつゝ有り▲延期奉告祭 仁川神社例祭延期に關し社務所にては十一日午前十時延期奉告祭をなしたり▲瓦斯會社と當局 既報の如く仁川奥田、白神、淺、和田諸氏の發起に成る仁川瓦斯株式會社設立認可申請の件に關し奥田貞次郎氏は十日農商工部を訪問し種々具陳する處ありたるが當局の意嚮としては地方開發上直接商工業上に關係を有する瓦斯會社の實現は慶ふ可き事にして當局に於ても審理の上妥當と認め得る場合は出來得る限り便宜を與ふる考なりと言明したり▲森支店長動靜 十日來仁したる森釜山十八銀行支店長は三日間滯在の上平安南道方面を視察の上歸釜すべく十一日は久水府尹を訪問したり▲櫻井稅關長上京 櫻井仁川稅關長は十一日正午上京事務打合の上當日歸任したり

忠州

▲學校長著任 木藤校長公立陰城普通學校に轉任以來缺員中なりし公立忠州尋常高等小學校長は鳥取縣立師範出身西尾紹平氏就任七日來著▲修學旅行 公立忠州簡易農學校生徒三十四名は教師引率八日修學旅行の途に就きたるが一行は徒歩にて清州を經て鳥致院に出で汽車にて芙江に向ひ各地の農場果樹園及び農事狀況を見學し歸校の筈なるが往復八日を要すべし▲秋季祭典 八日忠州神社秋季祭典擧行に就ては既報の如くなるが當日は朗來稀なる小春日和の冷肌を撫づるも心地よく社稷山は參拜者を以て埋まり秋季祭典及び在郷軍人主催の招魂祭はいと神嚴に行はれ既報の如く午前十一時より練兵場にて運動會柔劍術角力等の餘興あり各委員の斡旋にて居住民は一日の清遊を擅にし近來稀有の人出にて盛會なりき▲校長出張 公立忠州普通學校長前田牧次氏は普通學校々舍增築及び簡易農學校制度改正に關し道廳と打合の爲め九日清州に出張したるが來年度より簡易農學校は修業年限二箇年に延長すべしと

裡里

▲農銀貸出 全北農工銀行裡里派出所の先月槪況を聞くに貸出し二萬五千圓にして其用途は殆ど農業資金と云ふべく預金現在七萬五千圓あり荷爲替は漸く三百圓にして然も井邑金汀其他の地方玄米缺乏の爲め裡里より逆輸の奇現象を示したり當地方は農業地にして商業地ならざれば今月以後資金の活動を見るに至るべきか尚米穀仕向け地は群山にて一日に往復出來得る爲め荷爲替と爲す時は荷物は先著する爲め殆んど其効力なきより是れが便法を攻究中なり▲綿作視察 益山郡廳及び棉作組合主催にて木浦を目的地として榮山浦其他棉作地視察の爲め十日午前九時二十分郡員二十餘名往復四日間の日程にて出發せり▲新米搬出 最近新米の搬出多く一日百乃至二百叺の集合あり群山に向け仕向けられつゝあり價格十二圓二三十錢乃至十二圓代にして品質良好なり

木浦

▲九月金融槪況 米界は端境に際し遞著く到て鮮く下旬に入り新籾漸々出廻りを始めたるも時尚早なれば素より其額言ふに足らず從て手薄なる當地在米は益々稀薄を告げ相場は内地に比し終始割高にありたれば移出も皆無の狀態にて地方取引亦一般見送りの商情を續けたり而して一時盛況なりし海藻も已に時期を經過し出廻り頓に衰へ相場次第に下落を告げたるも只牛皮のみは盃皮の時期に入り出廻り多く氣配好調にして各地買煽の結果相場追日騰し生牛移送と共に閑散なる移出界を賑はしたり移入界を見るに中旬鮮盃を迎へ且次第に更衣期に入りしことゝて漸く活氣を呈し來り冬向雜貨の移入多く就中綿布類は荷捌特に活潑にして是等爲替資金の需要見るべきものあり越月後は棉花の出廻りと共に出穀時期に入る事とて久しく沈睡せる當地方の財界も漸次活躍を呈するに至らん

大邱

▲種苗場水稻刈入 慶北大邱種苗場にては九日原種田二反歩に作付の優良米種良都の鎌入れをなせしが近來に無き好成績にて昨年に比し一割以上の增收とて本年は一般に成育良好なりし天候の關係上實收は思はしからざるやも知れず道内收穫は百七十萬石は大丈夫なるべしと▲乾果の製造 大邱果樹組合員は貯藏し得ざる二等品以下の苹果を利用して乾果を製造すべく目下試造中なり

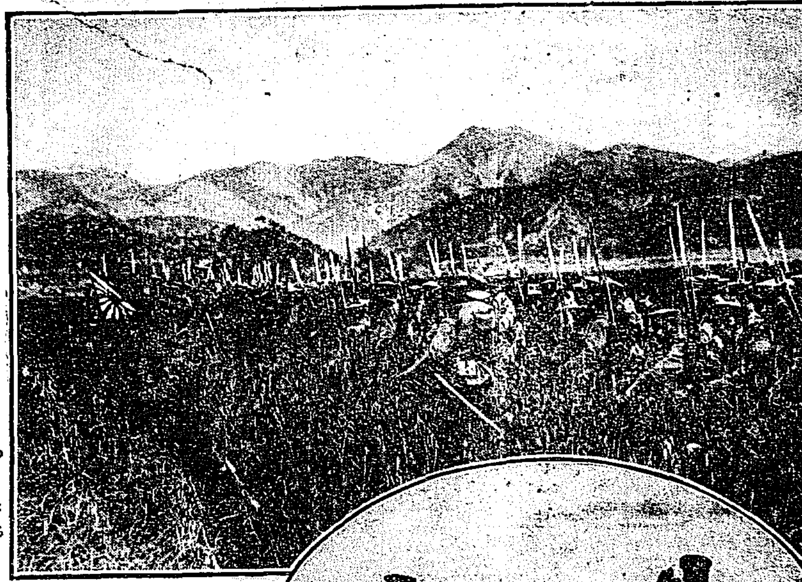
善山

▲龜尾最近戸口 慶北善山郡龜尾に於ける最近戸口は五十三戸百四十七人にして九月一日より學校組合設立されたる爲め漸次移住者增加の傾向あり▲龜尾小學校長著任 慶北龜尾小學校長岩根氏は二日赴任されたれば三日より授業開始せり因みに生徒十三名なり▲善山地方經濟 慶北善山地方に於ける經濟近況は開市日の大部分は降雨なりし爲め貨物の出廻り少なく市況沈靜なりしも去月下旬頃より新米の出市を見るに至り一石十一圓二十錢古米に比し一圓五十錢の安價なり而して金利は内地人對鮮人四分鮮人間普通三分五厘内地人對鮮人間四分五厘を上下し市場穀價籾五圓六十七錢玄米十三圓大豆六圓廿錢唱をへつゝあり▲善山郡農作況 慶北善山郡にては本年降雨の爲め局部にては著しき被害ありしも米作は昨年に比し殆んど二倍の增收ある可く豫想され農民歡喜の色あり因みに畑作物は大體に於て流失せるもの多く陸地棉の被害最も多かりしと

人事

▲柴田癸吉氏(三井本店員) 十日入京朝鮮ホテルへ

▲菱田靜治氏(總督府通譯官) 夫人同伴十二日朝南大門驛發汽車にて岐阜に歸省し夫れより東京に赴く筈歸任は十一月十日頃



沙里院附近の旅團演習(十日沙里院にて)上、步兵第七十七聯隊の突擊 下、池內步兵第七十八聯隊長の策戰振り

●井戸へ行くに千米突

八面六臂の兵の仕事=地方人の好意

沙里院陣中にて 市川第卅九旅團長談

十日の午前十一時三十分を以て旅團の假設敵演習が濟むと兵隊は皆沙里院停車場前の畑の中に坐つて飯盒を開いて晝飯を喰べ出した。統監の任務が漸つと終つた市川旅團長も副官や參謀を連れだつてヤレ〳〵と言つた樣に

▲統監旗 を樹てた畠の中にぐつたり坐つて粗末な辨當を開く、其處から一丁ばかり隔てた所に立井師團長は昨夜著いたばかりの岡本師團參謀長や山崎參謀と共に地圖を擴げて今日の演習に就て語合てゐるらしかつた市川少將に統監として今回の演習に對する感想を索ると飯をさつさと濟まして語る內地と朝鮮を比べると

▲朝鮮は 萬事に都合がよく各兵種の運用、研究についても裨益する所が多い。然かしながら今回熟々困難を感じたのは水の不自由な事である、露營せんとしても水を得るに困難なので出來ない事もあつた、水がなかつたとしても漸く五百人に對して井戸一個の割合になつて居りその又井戸も所によつて千米突も行かなければならぬ所がある遲い兵は翌日の

▲一時頃 になつて夕食を濟ますやうな事もあるがそれから千米突もある所へ水を汲みに行くのは隨分難儀である、それから最一つは軍隊では露營需要品と言つてる藥、薪炭等の物品が到る所現地で求められず他より購入するにしても運搬具が無く、總べて人の肩に擔らねばならず隨分厄介である。尙ほ此の間に戰鬪動作の防禦工事もせねばならぬ

▲休養も せねばならぬ炊爨もせねばならぬといふ有樣で此の點は內地とは大分趣を異にしてゐる、斯くの如く困難は頗る困難だが亦却つて實戰的で益する所が多い。元來此の機動演習といふものは困苦缺乏に堪ふるといふのが一の眼目であつてみれば結局好都合なのである。衞生狀態も最初は屯營を出れば必らず傳染病患者を出すと聞いてゐたので、之れについては極力豫防の方法を講ずると同時に大なる

▲覺悟を 有つてゐたが幸ひにも一名の傳染病患者を出さなかつたその他の患者も旅團を通じて二十名に過ぎず內地に比すると非常に成績がいゝのであるその患者と雖も入院を要する樣なものは一名も無い猶地方の人にも非常に厄介になつたが私の嬉しく思ふ事はすべて物質上よりも精神的に待遇してくれた事である。それは軍隊のために所々に湯茶の接待所を設けてくれたり、滯在中水に

▲窮乏し て居れば態々運んで來てくれたり之れは豫じめ官廳に賴んで置いたのにもよるが道路を修繕してくれたり、橋梁を架設してくれたり總ての點に便宜を與へてくれた而已ならず最も私が愉快に思つたのは最初吾々は地方の朝鮮人などが恐怖してゐると聞いてゐたのに反して實地に來てみると、九日の日の如き婦人が頭の上に水を乘せて運んで來てくれたり或は婦人で

▼演習を 見物してゐる者の可なりに多かつた事である。斯くの如きは全く朝鮮人の間に日本軍隊の眞價といふものが諒解されて來た事を語るもので衷心慶びに堪へない次第である。唯言葉が通せぬために相互に何かの行違ひが無ければ好いがと聊か懸念してゐたが幸ひに故障が無くて終つたのは一つには多く村落に泊らす露營ばかり續けてゐたせいではあるが要するに官民諸氏が

▲一致し て軍隊に對して好意を有つてゐてくれたのに因る事の多きは言を俟すまでも無い事で此の點については京城日報紙上を藉りて厚くお禮を申しておきたいと思ふ。(三好特派員發)

●注射事件 第二審の判決

咸北會寧郡會寧面二洞居住醫生陳弼淺(四〇)同地慈惠醫院助手權寧樂(二〇)の兩名が七月十六日午後四時頃同洞鄭仁龍の梅毒治療の爲め六百六號の使用を誤りて死亡せしめたる事件は既報の通り八月四日咸興地方法院會寧支廳にて陳は罰金百圓、權は同五十圓の判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴し同法院にて審理中なりしが右六百六號を注射するに當り硝子壜の外裝箱及び硝子壜の包紙に假名文字にてネオサルヴルサンとありしを以て其實質サルヴルサンなるにも拘らず之をネオサルヴルサンと誤信して之を溶解したる際充分注意すれば溶解の模樣並に粉末とも新舊の別は判然するものなるに不注意の爲該藥品を〇、六グラムを蒸溜水に一〇、グラムの食鹽水に溶解したる強酸性液を注射して死亡せしめしは全く使用の際の不注意に基くものとして前判決を取消し兩名を各罰金五十圓に處す旨判決ありたり

●飛行隊の出發は來月一日

今秋九州大演習に參加すべき飛行隊は十一月一日所澤を發して演習根據地に向ふべく此の間の距離二百六十里飛行時間十三時間半にして使用機は改良二式を使用する筈なりと(東京特電)

●大猪市街を馳廻る

九日朝群山府廳裏山附近に巨猪二頭現れたるを發見せる者ありて最寄群山稅關支署員及び稅關附近に荷捌中の人夫等が聲を揚げ追擊し猪も進退谷り一頭は稅關附屬倉庫に飛び込みたるを稅關支署員が撲殺し他の一頭は市街各町を走り廻り群山警察署附近に逃げ延び來りたる處を恰も路傍に工事中の群山水道部員の手に撲殺せられたるが一時は全市の大騷ぎを演じたり(群山)

◆虎疫と瀆職公判

目下大阪控訴院にて開廷中の瀆職公判の被告高津、相澤、板倉の宿泊せる大阪東區安土町飯田旅館の下女とよが虎疫に罹りたる爲め被告三名は八日桃山避病院附近所に隔離さるゝこととなりたれば裁判長と被告辯護士とは合議の上高津、相澤、板倉の三名は分離して新に高津板倉の爲めに卜部與村兩辯護人の應援ある筈なれば改めて開廷する事となれるが之れが爲め公判が中止さるゝ事なし裁判所にては八日正午より構內に大消毒を施行せり(大阪支局)

●小僧、俳優、賊

十六歲の少年

東京市本所區中の郷八軒町生れ住所不定山中好吉(一七)は釜山西町一丁目酒類販賣商福田某方の小僧に住込み酒類の販賣及び集金等に從業中六月二十六日より七月十六日の間に得意先三軒より取立てたる代金十五圓餘を橫領して遊興し一部は旅費に充てて京城に逃げ新派俳優望月薰、川上一座に加はり仁川にて興行し濟州の一座の者の衣類九點を窃取して又京城に流れ込み八月二十三日午後二時頃古市町鐵道官舍二宮某方家人の不在を見澄まして侵入し衣類二十餘點在中の信玄袋一個を窃取したるが遂に本町署に檢擧せられ京城地方法院にて懲役八箇月の處分となれり

コレラ彙報

▲仁川近島に發生 仁川に於ける虎疫は全く終熄を告げたる者の如く八九十の三日間一名の發生患者も無かりしが仁川近島なる永宗、紫月、龍遊等に怪しき症狀を呈する患者六名發生したる旨報告ありたるを以て仁川警察署にては直ちに及川警部を急派せしめたり

▲新羅丸は停船 十日朝釜山より下關へ入港せる關釜連絡船新羅丸に發生せる虎列拉患者は檢鏡の結果十一日午前八時愈々眞正と決定せし爲め乘客全部隔離せられ同船は十六日迄停船を命ぜられたり(門司特電)

▲備後丸は解放 九日より停船を命ぜられたる郵船備後丸は十日夜發生患者檢鏡の結果陰性と判明せし爲め十一日午前八時門司出發神戸へ赴けり(門司特電)

▲麻浦洞 九日午前中迄に麻浦洞に發生したる疑似患者は十一何れも眞正と決定せり

▲生魚を喰つて 慶南東萊郡邑內居住鄭永祚(三)は七日より發病し十日午前三時半死亡せり檢疫の結果原因は生魚を食せし爲めなりと(釜山)

●雄叫ぶ嵐に孕まれて(三)

草紙 船乘になるまで

商賣いろ〳〵

朝鮮で船員にならうとする者は、丁年に達した者は何の必要もないが未丁年者は父兄の承諾書を提出して船員手帖の下附を受け

―◇見習として 乘船するのである、朝鄕では、此等見習船員を一定の期間京畿丸、全羅丸等の大型の船に乘込ませる相であるが、是等見習船員は船に乘込むと大抵はペンキの臭に閉口して自分の體の重みに堪へぬ程暈ふ、殊に火夫などに至つては極端で百二十度からの苦熱がジリ〳〵と齎を絞る上に、頭を刺す樣なペンキ惡臭と

―◇血液を攪亂 するマシンの震動に苦められるのであるから忽ちにして倒れて了ふ、倒れる奴を起してはシャブルを握らせる、叱咤と鞭撻に氣を勵まされて起ち上ると又倒れる、斯うした苦悶を四五日間も續けると漸く人心がついて、食物の味も解つて來るが、若し此の場合快復する迄寢かせて置きでもしようと云ふ者なら、何日まで經つても一人前の働きが出來ず少し暴風雨る場合は

―◇乘客の介抱 どころか自分が眞先に倒れねばならぬので新前の間は出來る丈け倒れさせぬ樣或は叱り或は勵まして養成するだから下級船員の一箇年位の間は涙で暮すのが常である、給仕ならば便所掃除の僕及び上級船員の衣類の洗濯ランプ掃除等に間斷なく酷使はれるから始めの間は無性に陸を戀しがり暇さへあれば

―◇脫走を企て る火夫は石炭の焚き方が惡ければ『石炭は海の中にや落ねねんだぞ』とか『火を消す爲に石炭を焚べるんぢやない』など口穢く罵られる、水夫は甲板の上で餓鼠が這ふ樣な腰つきでもしようものなら大勢に靴で蹴り飛ばされる、斯うして種々樣々の憂き艱難を嘗めてだん〳〵一人前になるのである

幕營の夜

明々と炭火の灸り

私は今、西軍の露營地に來て居ります、八日の午後沈村附近に於いて敢行した猛烈な遭遇戰が

▲美事に功を奏し て、退却又退却と潰走する敵を追うて、同夕刻此の附近の陣地を占領した西軍は暫らく此處に兵馬を休め、九日拂曉を以て、總攻擊を開始しようとしてゐるのであります、此の地は沙里院を距る東北二里强咸洞といふ小部落なのです、私は十日餘りの月が朧々たる密雲に遮ぎられてゐるために、折角の良夜に、皎々たる明月が附近一帶を照射する淸艶な情景をも見得ずに

◆唯小暗い草叢の 其處此處から、心細げに鳴きつゞける蟲の聲を聞きながら、北支那あたりの戰地を旅行する時のやうな不安な場合を心に描きながら、二里餘りの路に五六十臺も續いて行く糧食、その他の軍用品を運搬する牛車を追越しながら、車夫を勵まして十一時過ぎに漸う露營地に著いたのでした西軍は第一大隊を前哨第一線なる中成陵下の商地に配し約五六百米突を隔てゝ敵の防禦陣地に對時せしめ

◆第一線をその後方 に遣き、私の足を駐めたところは豫備隊ともいふべき、西軍陣地の最も後方であつたのです、此の夜の露營は軍隊語の所謂警戒露營といふやつでありましたけれども、敵前で無い、此處に露營地は小隊毎に天幕を張つて、敷藁を十分にして三間に一間半の長方形の幕舍內には地面を掘り下げて、炭火の明りで灯が要らぬ位暖かさうに焚火をして居る程樂な露營でありました、露營生活の內部の狀態を記す前に

◆其外觀に表はれた 露營地の事を概略記して見たいと思ひます、それは全く軍隊のがゝる空氣に觸れた事の無い私に特に珍らしく感ぜられたからです、露營に要する道具即ち天幕とか支棒の如きものは兵が各箇に背嚢の內に携帶してゐて、分隊なら分隊小隊なら小隊が露營をしやうとする時にはそれを各々繼ぎ合して幕舍を作り、將校は將校下士卒は下士卒と別々にその幕舍に泊るのです、私の居ります所の露營地は小松山の直ぐ下の豆畑で幕舍と幕舍の間は

◆約五米突幕舍の前 方十四五米突の地點に叉銃を爲し其處から少し離れたところに哨兵を立てさせてあり雨を催して來さうな天候であるために幕舍の周圍には土が深く被せてあります。此の幕營方法は要務令にある正規のものだといふ事はK中隊長の說明によつて知る事を得ました、更に之れから、天幕露營の內容に就いて記す事にいたします。(九日午前二時中成陵附近の露營の影にて三好生)

▲服部警務部長巡視 慶尙北道警務部長服部米次郞氏は管內慶州方面巡視の爲め九日より四日間の豫定にて出張せり(大邱)

讀者文藝 (一等には五十錢の商品券を呈す)

▽一口噺

○女中『旦那樣、內閣が掃除職になりました』且『フーム虎列拉流行の時節柄儲かるだらう』(一等) 京城本町二 森 まん

▲顧客『喰物屋には能ばかり使つてる蓄音器があるさうだ』見合點『すると其所の鷄は鳴かぬのだな』 仁川 山川生 茶目

▲西坊『今度一圓紙幣が改正になるさうだ』『やはり穴があくだらう』 京城 紫 吉 坊

▲甲『人は紅葉を錦と云ふが己れは栗を錦と云ひ度い』乙『ナゼ』甲『デモ栗は西木と書くからよ』 京城 東 海

●夫を殺さんとす 忠北淸州郡南一面松岩里金連伊(二五)は朴興鶴の妻なるが數年前より同里居住の[illegible]に是れ幸ひと同液を拵へ且つ苛性曹達を溶解して混入し之れを侑めたるも霎嘗が吐き出したるため遂に殺[illegible]

●西岡巡査死す 六日午後二時半頃平北寧邊郡八院面龍城洞の山路にて金塊護送中銃器携帶の賊に射[illegible]

[illegible]屋崔相五方竈の火が松葉に延燒して六日午後一時頃發火したるも即時消止む同家は掘小屋にて損害僅少

十日夜釜山入港高麗丸一二等客 一等 岡崎千鶴丸、同近、同正順[illegible] 二等 今村多三、中村昇、檜山鉄五郎 [illegible]

天氣 十月十二日 晴れ後曇り

課題及募集規程

課題 〆切十一日 發表十二日

△評題車を掛けて』 同 十二日

募集規程 ▲用紙は端書又は型同の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふ[illegible]

○正誤 十月十一日再築落成號第四面鈴木商店廣告欄內『京城南大門通二丁目』とあるは『京城本町二丁目』の誤植に付き訂正す

演藝案內

大然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 Mカシー商會 朝鮮一手代理店 電話一八五二(階上)二六三七(階下) 黃金館

十月十一日より 差替の三大フヰルム ▲實寫シシリー島の海港 ▲喜劇 百番物語 ▲實錄忍術太郎 全三卷 阿多々仙人より忍術を八道返しの秘訣を傳授されし速房太郎は諸國を遍遊して武名を揚げ可憐の孝女お梅を救けて伊豫松山八百八狸大山刑部と蘇小源太を退治し ▲探偵活劇アルデンの寶石 南鄕公利丸 山南山説明 近來珍らしきフヰルム罪惡を包みて結婚せる二人の未來怪凄好是の教訓活劇 ▲新派悲劇女の鑑 全三卷 妙見山地井上正夫、木下八百子出演

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 大正館

十月十一日より秋季特別大興行 ○歐洲大戰後の安府 ○滑稽置てきぼり ○喜劇[illegible] △米國アメリカンフヰルム會社傑作 ○活劇第二彈 全二卷 ○同 △日活會社秘藏の大寫眞 松之助 延一郎一派出演 ○實錄忠臣藏 全十二卷通し ○活劇 全十二卷續き長尺もの

京城 壽町 電話五七八番 壽座

魁難波戰記 艶姿女舞衣 酒屋の段 三幕 前中切 瀧口 矢の渡し

秀頼、實は[illegible](片岡我左衛門)主膳(片桐且元)[illegible] 林長之助(浪花梅之助)[illegible] 左吉(後尾駒太郎)大久保、宗服五助、(市川小文治)後藤又兵衞、(市川市十郎)

日本活動寫眞株式會社特約 本町一丁目 電話二六六 有樂館

初日滿員 例の如く甚大の御愛顧深く拜謝仕候 實錄 忠臣藏を 少女 浪花節 本日の讀物 大高源吾 大好評の 大正館

明治町 電話二六〇 浪花館

○東都女流浪花節大會 ○當る十月十二日より初日讀物 桃中軒桃子改め日の本三都子嬢來る △前席數名出演 △長州萩の夜嵐(神田伯猿) △黑田武士母里太平(日の本三都子嬢) ○出演者多數に付每夜正六時半開演

御成町 電話一一九一 御成座

十月十二日より初日御目見得 市川團太郎一座 ▲武三番叉引ぬき段廻り ▲前狂言奧州安達ケ原 ▲切狂言信田妻二人奴 [illegible]

醇良清酒 大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎 特約販賣店 京城本町二丁目 佐藤牧太郎 同 本町三丁目 明治屋支店

鹽 各種食鹽販賣 穀物委託販賣 龍山製鹽所 龍山元町四丁目 電話龍四〇七番

M印 品質本位 ゴマリ 大阪唐物町四 飯田商店

五龍背溫泉 新義州より汽車で卅分

石炭購買入札 右十月二十五日競爭購買ス詳細ハ十月十日朝鮮總督府官報又ハ當部ニ就キ承知アレ 第十九師團經理部

山田醫院 本町二丁目四十五 電話二八八〇番 內科 小兒科 花柳病科 眼科 呼吸器病 胃腸病 專門 山田萬作 (入院隨時) 尾形周太郎

故秋山鐵太郎 葬儀十三日午後五時に變更仕候 十月十一日 秋山一郎

し速伊に至郵草の拗り汁を望みたる て京城覆審法院に控訴せり
の判決となりたるが速伊は不服とし
も七日午前四時遂に絶命したり
▲竈の火から出火 京城中林洞豆腐

●仁川各學校の授業開始

▼惡疫流行と臨時休業 ▼兒童健康と校醫巡回

仁川公立各學校は愈々十二日より授業を開始する事となり久しく惡疫の流行に脅やかされて居つた千數百の中小學生徒は懐しい校門に集ふて快活に遊び熱心に勉强する事となつた學校職員は

▽暑中休暇後 幾許も無く二十日間の臨時休業を見るに至つたので生徒の學力の退歩を如何にして補ふ可きか休業中進行すべかりし課程を如何にして進まし可きか等の問題に苦心して居る何分虎列拉が學校附近に突發すると同時に生徒に對して休暇中の心得、惡疫に對する注意等を訓示する遑も無く倉皇歸宅せしめたのだから腕白盛りの兒童の事とて暑中休暇の場合の如く與へられた

▽課程の復習 をせない然も虎列拉は益々猖獗を極めて一週間を以て開校し得るに至らず遂ひに二週間延期の止む無きに至つた爲め各學校では二十八日頃コレラ豫防上の注意書と各學級毎に復習日課表を配付して散漫放逸に流れ易い兒童をして教科書に親しむ樣最善の方法を執たのであつた倖ひにして休業も延期に

▽亟ぐに延期 を以てするの不幸を見ず豫定より一日早く開校し得たから各學校職員は今後有らん限りの努力を傾注して遅れた二十日間の教科を今學期中に取返す可く其々教授法の研究中であるがされば迚て散漫に流れた兒童の注意力を急に一點に集中させて過激の勉强を強ひた極端な注入主義を採つて幼稚な頭を疲憊させたりする事は教育上策の得た事で無いから成る可く此際家庭との聯絡を取り

▽父兄の注意 と職員の指導に依り休業中懈たつた課程を補はねばならぬと言ふ自覺を起させ自發的に勉强させねば到底滿足な結果を見る事は出來ないのである父兄は此間の消息を了解して家庭教育上遺憾無きを期し學校教育をして有終の美を濟さしめて貰ひたいとのことである更に衞生上の注意として學校では生徒の登校に際つて一々消毒するは勿論出來得る限り

▽授業中校醫 をも巡回せしめて少し健康を傷めた生徒は診察して保健上遺憾無きを期すると共に虎疫をして斷じて校門に侵入せしめざる樣有ゆる手段と方法を凝す由であるから此點は父兄も安心し得らる〻理である(仁川支局)

●連絡船缺航 關釜連絡船對馬丸船員に虎列拉患者發生し下の關に定期の滯留を命せられし爲め十一日朝釜山著及び同夜釜山發の連絡船は缺航となりたりと

籠のうち

◆美音と駄音

◆呂升が來て京城の浄瑠璃界も一時活氣立つたやうだ、呂升は實に聲量が豐富であり、藝も達者である、浄瑠璃の巧拙は別問題として聲量の豐かな點に於て呂升に及ぶものは恐らく少なからうと思ふ◆然し呂升は美音に富んでゐるのであるから呂升に語らせると何んな浄瑠璃でも美化して了ふ、呂升に駄音を求めるのは無理である、呂升の語り物には制限がある、要するに時代物は呂升の語には適さない、花に比喩たら蘭とか牡丹のやうな綺麗な語り物が適してゐる◆我々素人が浄瑠璃を稽古するにも天禀の美音を有つてゐるものは自然咽喉自慢になつて節廻しに苦心しない、それに反して聲の惡るい人は節廻しに於て一生懸命に研究するから完全な節を頭に入れることが出來る◆師匠を選ぶにも其通りで美音家の師匠は何うしても咽喉自慢だから斯う云ふ師匠に付けば節廻しの稽古は極めてお粗末で、只聲を振ふのみ力める、そうかといふて咽喉自慢の師匠が聲を自慢するのを許すこと は用來無いから習つても人は結局損である◆此點から考へると惡聲を巧みに使ふのは困難である だけ聞いてゐると味がある、美聲は其時限りで永く耳に殘らぬ、越路太夫も駄音の一人、それよりも一層惡聲の呂太夫などは實に節廻しに苦心してゐる(キ)

神社とお寺と教會

◎石原校長歸任期 嚴父病氣の爲め歸郷中なりし石原南大門小學校長は其の後嚴父快癒に向はれたるに付き本月中旬歸任の筈

○東本願寺(南山町) 十一日午後七時半より信友會(歩船鈔)の講話あり講師は大幸師

○西本願寺(若草町) 十五日(日曜)學校の運動會を開催する由

○國柱會京城局(初音町) 十二日午後七時より伊東顧師外數氏の日蓮主義に就ての講演あり後一般會員は徹夜して翌朝『聖祖御林令』の報恩法要を嚴修する由

○護國寺(旭町三) 十二日午後七時半より宗祝待夜法要及び說教あり

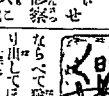
―△會のいろ〳〵▽―

□日宗婦人會 十三日午後一時より旭町三丁目護國寺にて開催法要及び說教あり

□五高出身同窓會 十日は熊本第五高等學校開校記念日に付同夜在京城同校出身者相謀り同窓會を千代本に開きしが林東拓三島鮮銀兩理事矢野通信課長草場檢事其他二十餘名列席盛んなりしと

婦人界消息

△三島しづ子(鮮銀理事夫人) 數日前福岡縣へ旅行された



△蒸燒松茸柚子酢 松茸の石付をとりよく鹽水にて洗ひ鹽を少しく振りかけ紙にて全體をくるみて水をかけて紙がビチ〳〵にしてほうろくに並べて焙ろくをかぶせ上下の火にて燒きとり出してほそくむしり柚酢に清切り味淋と醤油と鹽少しにてかげんしたるをかけて出す(青木はつ子)

◆束髪と頭の衞生 顏と髮の調和

西洋との交際が開けてから日本婦人間には何時の程か束髪が一般的に流行して來た、前を引つ詰めにして居たのが漸々毛束を入れる樣になり

◆前 をふくらませ、又此頃では後までふくらませる樣になつた、後を長く出したり、結び目を高くしたり低くしたり前を無暗に

◆高 くし、種々髮結も素人も束髪には工夫を凝らしたものである、それで居て日本の婦人の頭には

◆顏 と髮との調和と云ふものをよく考へた事がないその上昔からの日本の習慣で、髮を破さない樣にと

◆心 をくばる智識はあつても頭の衞生がどうあらうと一向うんな事には頓着せぬのである現在の婦人の束髪を見ると

◆十 の九迄は前に毛束を入れてある、これは帽子を用ひないだけに、髷を美しく頭に落ちつける爲めの用意ではあらうが、前を高く

◆出 して居るのは何う見ても顏と調和して居ない、その上毛束を入れるのは頭を重くする外稍もすると

◆禿 を作り衞生上にも又よくない夫では一番よく顏と調和し衞生に適した束髪は何う云ふのかと云ふと毛束を絶對に入れぬ

◆法 をとつて結ふのである、と云つて引詰めるのではない、よくすいた後に油を少しそゝぎ(根元の方に)根を一つにして周りの髮は櫛で少しふくらませてさすのである

◆髷 が直ぐ落ちる憂のある時は、髷の下に一枚のしつかりした櫛をさす樣にすればそれでよろしい、女優髷の樣に前を

◆一 つに分けたりするのは日本婦人の顏には多くが似つかない樣に思はれる髮の毛は束を入れなくとも結構ふくらむ樣に出來て居るが

◆若 しふくらまなかつた時は、コルクを黒焼として、その粉を少し毛につけて櫛を入れると格好がよくなる床につく時はなる可く髷をほぐして

◆櫛 其他をとり枕(頭の爲めには坊主枕)を安らかにして眠りに就く樣にして欲しい、髷をもたすのよりも頭を大切にする事の利益は遙に上である

商況

東京公債直取引(特電)
十一日出値段(前日との比較) 五分利特別 五分利甲號 五分利乙號 四分利 一回四分 二回四分 甲五分 八二、一〇

深川在米特電
十一日現在高 朝鮮米 臺灣米 内地米 一七、五八七 一九、四七二九 一三、五三九 一〇、五三五

東京債券現物特電
十一日出來値段(前日との比較) 九州炭礦 東拓 京城電氣 朝鮮銀行 朝鮮瓦斯 南滿鐵道 七六、〇〇

東京期米特電
十一日前場 十二月限 後場 當付 高値 安値 止め 四、二九 四、四五 四、二九 四、四五

大阪株式特電
十一日前場 後場 鐘紡 宇治川水 神戸電鐵 京阪電鐵 和歌山電 大阪商船 合同紡績 日本郵船 上新株 大阪新株 東京株式 大阪株式

大阪三品特電
十一日前場 十一月限 十二月限 一月限 二月限 三月限

大阪期米特電
十一日前場 當限 中限 先限 寄付

下關期米特電
十一日前場 當限 中限 先限 寄付 高値 安値 止め

雜報

●粗布續いて値上 粗布は既報三圓の値上げに續いて昨十一日更に三圓方を引上げ延値百六十二圓

●内地相場に接近 ●乙前途有荷の缺 ●鐵價は落付

●牛皮更に不勢 ●毛皮類高氣配 ●七十圓を唱へ更に三四圓安の正味

●罐詰類益々強硬 ●魚類 ●グリーンピース ●鰹節在荷薄

●五倍子持合 五倍子は安値を持合居れり

下關相場

▲朝鮮白米 ▲大豆 ▲小豆 ▲同 朝鮮一等白米 ▲同 滿州新大豆 ▲同 元山新大豆

京城正米

仁川現物市場

釜山市場 十日

南大門の廻穀

仁川期米

▲一日前場 大阪天候曇天前寄十四圓七十二錢と昨止り十四錢安の入電二節同事の移り九錢安に寄付上

市場雜聞

▲續て下押す ▲人氣は依然賣逸り一面に押目待に日先

仁川米豆取引所

十一月の十一月限

前場 寄付 高値 安値 止め

賣買取組高 十月限 十一月限 十二月限

▲利喰に買物多く ▲前場の手振 ▲大に賣る ▲の大商内 ▲能く買ふ ▲能く買ふ ▲今乘替へ買 ▲の商内 ▲中先鞘開き ▲中先の逆鞘 ▲遂に七十錢内外と近擴大 ▲情 現下の正米事 ▲更に新安値 ▲廻り十六錢の新安値を現出 ▲前の安値を下 ▲米山時代の先限は此大下鞘 ▲込餘地

●マラリアに一番 ヨクキクスリハ 龍山林藥房製劑の マラリア特効丸 金拾錢参拾錢五拾錢▲郵税貳錢 ●ニセモノアリ御注意● 賣藥 本舖 龍山 ⓗ林藥房 京城本町一丁目 代理店 山岸天祐堂

東京米穀商品取引所仲買人 相馬榮治 東京市日本橋區蠣殼町一丁目一番地 電話 浪花 長二四六〇 二四六一 二四六二 二三九九 登録電信略號(トウケイマタ) 營業案内送呈

●二百圓取 ●自動車運轉手は月收入海外にて二百五十圓位内地は五六十圓位が普通で ●れる高特殊の收入を得就職容易需要從旺盛也申込次第詳細方書無代呈す 東京市京橋區南紺屋町 發動機協會

浅田飴 ごほん せき たん に よし 本舖 東京 堀内

在鮮幾萬婦人に對する福音

時代の推移と共に一般の要求と渇望の理は衞生に適し經濟的滋養に富める家庭の料理は發刊亦少しの一なるべし而し其の…

(婦人心得) 毎月行事歳暮年越正月飾 婦人一般の禮儀生花挿花裁縫等苟しくも婦人の心得べき如上の記事を懇切に講述す

(日本料理) 儀式會席精進料理其他一般の料理を最も實用的に而かも簡易を旨として何人にも出來得る樣朝鮮の材料を以て說明す

京城旭町二丁目百二十八番地 (電話架設中)振替口座京城三九七〇番 朝鮮割烹講習會

朝鮮割烹講習會 講義録發行

(西洋料理) 一品料理各國料理晩餐料理紅茶コーヒーの拵へ方其他種々なる料理等を實地に應用し賓客及び郎君をして激賞せしむべき妙技を教授す

(支那料理) 邦人の口に適したるものを撰擇して教授す

(和洋菓子) 各國の粹を拔き嶄新にして風味ある種類を網羅し殊に朝鮮産の果實羊羹及人參菓子蒸便食パンの製法等を教授す

(入會) 會員として講義録を送本す會費は集金郵便に委託しあれば御送金の必要なく至極便利也

(會費) 一ヶ月三十五錢、三ヶ月一圓、六ヶ月一圓九十五錢、一ヶ年三圓六十錢(集金郵便により納付せらるゝ時は一ヶ月分三錢、三ヶ月分四錢、六ヶ月分以上は五錢增加の事)

(學期) 一ヶ年を以て滿了とし卒業者には希望により證書を授與す

(特典) (一)愛國婦人會員にして入會申込まるゝ方へは會費を特に低減すべし詳細は會則により承知せられたし會則御希望の方へは御申越次第無料送付す (二)創立記念として當分入會金免除す 尚本會は有力なる各夫人の贊助により近く實習部を設置すべきに付此際至急入會せられん事を

朝鮮割烹講習會

藍玉 本場精選の地藍移入仕候に付一坪分以上御入用の御方には特別破額を以て販賣仕候 ▲代價の義は御照會次第直に御報可申上候 釜山本町四丁目 電話七八一番 小津商店

銃砲火藥 度量衡 販賣 平壤南門町一丁目(花咲銃砲店事) 平壤銃砲店 電話一四三番 電略(ヘ)又は(ヘイ)

花咲銃砲店事今般平壤銃砲店と改稱し規模を擴張し主として鑛山用、土工用、爆藥及火藥類を在品豐富に貯藏し需要家各位の御便宜と完全なる供給を期し可申候 狩獵用品は獵銃、空氣銃、獵用火藥、雷管、霰彈、獵具品一切を取り揃へ廉價を以て販賣可仕候

追て弊店扱の商品は度量衡を除く外何品に限らず左記弊店關係の銃砲店に於て需要家の御便宜により現品御渡し可申上候

銃砲火藥卸商 仁川仲町一丁目 共榮社 主任 西村粂藏 電話七五番 電略(キ)又は(キヨ)

釜山南濱町 西村銃砲店 電話三二七番 振替京城二四九六番

群山全州通 西村銃砲店 電話四二八番 振替京城一〇〇八番

吉田學明

人事百般鑑定需應す 鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓 鑑定時間 自午前九時 至午後十時 京城本町三丁目 大日本陰陽學會朝鮮支部

▲十錢書籍券を呈す(但何書何號と明記に限る)

宮本武藏

第百八十四回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

戸部新十郎は此の態を見て襖をサッと押開き其の居室へ飛込み　新『コレむら其方は一人で何を食して居る、一ッの物を二ッに割つて食するのが夫婦の情、俺にもそれを『與へろ』むら『イヱ貴郎、是は妾が好物貴郎には上げられません、此の有樣を御覧なされたらば嘸ぞ愛想が盡きたでございませう』　新『何で愛想を盡さう、結局俺の氣に叶つた、何うでも宜いから俺にも喰はせろ』とおむらを其處へ突除けて突如瓶の中に手を差入れて嬰兒の腕を取出しアグリと一口喰て見ると、イヤ旨いのなんのと云つて　新『是は結構なものだ、這麼物を其方一人で喰るといふことはない、何故俺にくれなかつた』とムシャ〳〵喰て其の赤い汁を手で汲んで飲んで居る、是は何だといふと砂糖で製したものであるから旨いには違ひない、おむらは呆れて居る、此時後ろの襖を押開いて其處へ立出たるは舅の宮本武藏　武『豪い新十郎、其方の心底見届けた、此の上は我家の養子宮本新十郎、縁あつて其方が妻となつた者であるから生涯むらを可愛がつて遣つてくれ、又むらも新十郎を夫として、是に仕へ貞節を盡せ、殺伐なやうではあるがかゝることを爲せしは其の始たる者の陋膽を試す爲、かゝることに驚いて逃げ歸るやうな者は役に立たん、其方こそ眞の英傑、其の志であらば宮本の家名を汚す虞れなし、今改めて親子夫婦の盃をいたさん』と玆で改めて盃を取交しましたが、早速此の事を届けをして宮本新十郎に家督を讓り、其の身は隱居いたして二天と號しました、此の二天といふ名は宮本の齋號でございます、武藏は土佐家の畵風を能くいたしました者で、此の人の描いた松に鷹が只今以て細川家の寶物になつて居る位でございます、越中守は時々二天を召して御前に於て揮毫させまする、中には二天より手本を貰ひ畵を學んで居る者もありまする、此の二天が畵を以て諸國を漫遊したいといふ望みを起しました處玆に彼の水野日向守勝成は二天とは無二の友にして、時々二天と會合をするが、此の日向守の望みといふは天草亂後刀は鞘、弓は袋に入り御代は非出度萬民太平を樂むと申すものゝ未だ諸侯の心腹も量り難く、然し鎭西諸侯の心中は天草の時に相判つたが、東北諸侯の擧動は量り難い、此の上は東北を巡り諸侯の動靜を探り見て其の事情を公儀に申し上げるも奉公の一つであらう、最早我七十有餘歲に相成り、年々歲々花相似たり歲々年々人同じからず、何時までの壽命なるや、明日をも知れぬ老の身の上、御奉公納めに此のことを果さんと思ひ立ち、乃で宮本を招で此の相談をすると二天も大きに喜び　二『左樣なれば拙者は畵工といふことでお供をいたしませう』　水『それなら俺は儒者になつて參らう』と互に約束をして其日は戻りしが、玆で支度を致して二天を伴て江戸表を出立いたしました最も日向守は家督を子息美作守に讓て自分は隱居の身分、儒者の曉雲となつて服裝は鼠木綿の衣類に同じく被布を被て細身の脇差を帶し、杖を突いて網代の笠に草鞋穿き、宮本二天は鐵色無地の衣類に被布を被て是又小刀を差し背の笠に草鞋穿き、小さな手荷物を振分けにして肩に脊負立出たが、洵に氣散じな旅だ、二里行つて泊らうと三里行つて泊らうと勝手次第、路すがら名所古蹟を探りながら千住の宿まで參りましたが、日向守の曉雲は　曉『時に二天、俺は日頃よりして鹿島香取の兩社を信仰いたして居る、此度天草の戰亂にも著しく利益を授つた、御禮詣り旁々常陸國鹿島香取の兩社へ參詣いたしたいと存ずるが如何であらう　二『仰せの通り鹿島香取は武の御神、手前も最も信仰いたして居りまする、幸ひ此の六月十五日には鹿島の祭禮、恰度是より參れば其の祭禮を見られますから、それでは是より彼處へ參詣をいたしませう』と兩人常陸國を指して參ります

外科一般　皮膚科
淋尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院　電話四一九番

本町二丁目三越向電話一〇四七番
齒科診療　齒科醫學士　野田應治
野田齒科醫院

歸へるねしより
京城みやげが待ちかねる
木村屋パンの
市内に名のパン屋あるも當店と何等關係なし
（京城明治町　電話二八七〇）

ニ粒
京城大平通二丁目
遠藤商店
電話九八二番

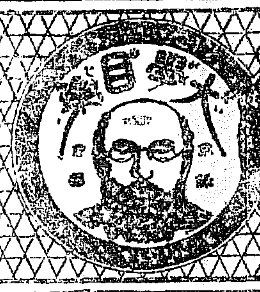
十月十三日 九星
舊九月十七日 癸未
本命五黃 八方塞 先勝

▲五黃　ちらばらになる事有日　注意新事見合南方は吉……▲六白　手順よき日……

古錢
いろは別古錢價格表定價廿錢送料二錢
錢譜六百餘種挿入
振替大阪一三〇番
發行所　大阪松屋町博物北　家村書店

ぢ疾者に告ぐ
いぼぢ　きれぢ　ぢろう　だつこう
出血痔に効力正しき良藥有往復端書で申越す方に詳報
兵庫縣加古郡坂元村　元庄本家

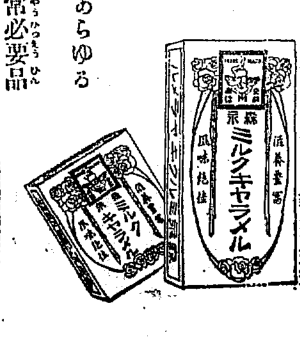
新の療法　はい病
肺病ロクマクで種々の手當も効なくお困りの方は切手三錢送れ永年の病も自宅で快癒す最善治療の詳細を報す
名古屋市南小川町一丁目　救生會



進歩せる國民には進歩せる藥劑を要す
是が理想的なるは大學目藥也

お子様方に
ライオン齒磨
每日齒を磨くやうお教へ下さい！
口中を淸潔にして齒の病を豫防するには、ライオン齒磨を使ふのが一番でございます。ライオン齒磨の柔かい香氣と、快い凉しい味とは、お子樣方に齒を磨く習慣をつけるに恰度宜しうございます。
さうして良い習慣を附けられたお子樣は、一生幸で、齒の健康を樂むことが出來ます。

七日ツケタラ鏡をどうら色白くなるゲンソ液
小壜二十錢　徳用四十錢
今東京で大評判の白美の元素色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる
全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す
東京和泉橋際ゲンソ液本舗　松本藥店

安心して食べられる菓子
森永ミルクキャラメル
煙草代用
滋養　本品が美味と滋養の權威としてあらゆる
消化　階級の多忙な人の懷にも寧ろ日常必要品
風味　として用意せらるゝのは此現代製菓の四
清潔　要件を完全に備へて居るからであります
ポケット用大金十錢小金五錢

當會社特設の化學試驗部に於ては
藥學博士　丹波敬三氏
藥學博士　岡田榮吉氏
兩顧問の選定せられたる專任技師數名顧問指導の下に日日使用する原料を檢定して品質の統一を期す
東京　森永製菓株式會社　大阪
5—17

京城日報 第三版

十三日朝刊 夕刊に合せて十二頁

本紙定價 一部金三錢 一ヶ月金六十五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話番號 [illegible]

仁川米豆取引所
十一日前場 [illegible]
大阪三品 [illegible]
▲④能く賣る [illegible]
▲全能く買ふ [illegible]
▲現物界 [illegible]
十二日の十二月限 十月限 六千四百五十石 十一月限 七萬三千四百五十石 十二月限 四萬千九百石 [illegible]

殿下を迎へ奉る

閑院宮載仁親王殿下には、去る九月十一日東京御出發、直ちに朝鮮を御通過して露國に赴かせ給ひけるが、既に完く御使命を果させ給うて、御歸朝の途、本日再び朝鮮を御通過あらせらる。光榮ある今次の御旅程に於て、御往還再度、終始奉迎の好機に接するを得て、吾人朝鮮に在住せる臣民の喜、之に過ぐる事なし。抑も、聖旨に依りて殿下此度露國を訪はせらるゝや、曩きにグオルギー大公殿下の御來朝に際し、上皇室は申すも更なり、下國民を擧げて衷心歡喜の至情を以て奉迎したるが如く、露國皇室を首め、上下國民の殿下に對する優遇至らざるなく、殿下を通じて露國民の、我帝國に對する歡情の流露、眞に傾け盡して遺憾なかりき。洵に東西の二大帝國が、今日の如く親善の關係に立つに至りしは、偶然にあらずとは雖も、殿下の露國御訪問が、更めて切實に彼國朝野の、我國に對する信賴を深からしむるに與かりて偉効之れ有りしは、玆に絮説するまでもなし。

現下の歐洲戰は果して何の日に其終局を見るべきを知らずと雖も、他の聯合諸國と與に、露國が今や全力を戰線に傾注しつゝ、其の精英を増加せるの際、勝敗の數は既に今日に於てすら明かなりとするを得べく、其の時に臨んで日露協約の締結を見、更に閑院宮殿下の露國御訪問の事あり、露都に於ける殿下歡迎の席上、露國民衷心の聲として日露兩國は兄弟的情誼に在りと高調せられたるが如く、今後將來兩國の政治的經濟的親近提携は、現在戰爭の過程に於ても、將た平和克復の後に於ても、愈々益々緊密を加ふべき事、今日兩國民俱に、堅き自信を以て期待し得るに至れるを、喜ばずんばあらず。

殿下今、長途の御旅程に御恙もあらせられず、畏くも重き御使命を果させられ、將に帝都に御歸還あらせられむとす。御途次に奉迎の光榮を擔ふ、歡喜何ぞ堪へむ。

朝鮮の古城郭(十三)

歴代城郭の變遷(承前)

八木奘三郎

(四)今や城郭論を記するに當りて、斯る郡縣の沿革を考證するは甚だ不必要に似たれども其實大に關係あるを以て最初に之を記述せし次第なり。

後漢書郡國志を按ずるに、樂浪郡の條には十八城、戶、六萬一千四百九十二云々とあり、此十八城は古く嶺東七縣を棄てし爲め、殘餘の縣數十八に對する數を示せしものにて、即ち一縣一城の割合を擧げし譯なり。而して嶺東七縣は單に自治を許せし迄にて統治權は名義丈にもせよ漢室に於て把持せしに依り、各自に縣城を置しやも量られざるなり、蓋し漢代は一縣一城を置くこと、郡國志の明記する所なれば、此點は殆んど疑ふ可らず、而して朝鮮の廿五縣、少くも十八縣に當時漢風の城郭ありしは確かなれ共、今日之を認め得るや否やは保證の限りにあらず、唯だ至幸なるは其面影を窺ふ可きもの二三あるを以て先づ之を略叙す可し。

(イ)平壌の土城 漢の四郡以前に、箕準衛滿等は平壌城に居住せり、而して武帝の朝鮮討滅に就ては水陸の軍、大に力を盡せしこと歴史に見ゆ、然れ共當代の遺跡は今明ならず、且つ平壌の地は歴代都城たりしを以て沿革頗る多く之を詳記すれば大冊を成す可きにより、右は後回に略叙することゝして、其對岸土城面の土城を紹介す可し。

平壌の南方、即ち大同江の左岸に土城洞と稱する地名あり、此地自然の丘陵上に土城の迹を現存す、其背後は大同江に臨みて、斜めに平壌に對せり、距離は平壌を距ること一里許り、往復困難ならざりしも、從來探査せし人皆てなく、關野氏一行の人々之を調査せし後、始めて樂浪郡治との説を立て、蓋し同博士の所説當れるや否やは別問題として、其城内より漢式の古瓦と瓶甕とを出すは事實なれば、古く漢族の據有せしことは疑ふ可からず、而して現存の土城は斷續一ならず、寧ろ殘存部は僅合に僅少なるが上に、内部と土壁中とより高句麗時代の古瓦片を交へ出すによりて、之を漢代の築城と稱す可からざれども、他の實例上より推考するに、其土居を繞らせしは稍や確實なるが如く、又地形に因て按ずるに、前後高低の別こそあれ、大略方形なりしが如く、又方四五丁の範圍に止まれるは事實なり、勿論古瓦の出所より考ふれば城外にも多數に其破片の存在する場所あるにより、前者は所謂本丸にて、別に外郭を設けしやも圖られずと雖も、之は一個の推測に過ぎざれば、姑く確實に近きものを以て其證となせり、倘ほ之と併せ見る可きものは、黄海道沙里院近傍の土城なれば、次に其例を云ふ可し。

奉迎

御歸朝の途次本日御通過あらせらるゝ閑院讃露宮殿下

黄海道を縫うて(三)

尉の子生

▲載寧の富田鐵山 載寧鐵山は載寧郡内三支江面金山里に在つて鎭南浦の西崎氏其の經營に任じてゐる。山はいふ迄もなく農商務省の所有で鑛業權者はツイ此程まで河野廣中氏であつたが九日以來仲小路廉氏に代つた譯である。鑛山の狀況に就いては別項に詳述する積りだから玆には重複を避けることゝするが山は載寧大平野の眞中に巍然と頭を擡げてゐるので頂上の展望は甚だ雄大である、此處の鑛夫は繁役まで入れると多い時は一千少ない時は五六百位ゐだが昨今は先づ七百名内外のものだそうである直接の從業者數が四時動いてゐるといふ事は作業の進捗上殊に斯んな請負的の山に取つては甚だ喜ばしからぬ事ではあるが規則づくめで縛る事の出來ぬ彼等を使ふ以上は是非も無い次第で事務所でも離合集散は彼等の欲する處に任じてゐる樣である

▲荒むだ鑛夫生活 鑛夫抔といふものは何處とも同樣飲む、博つ、漁るの三道樂が附きもので土地の鑛夫は左程でも無いが、其の七割方を占める旅稼ぎの荒男どもは此の方面の發展にかけては却々退けは取らぬ、但し賭博丈けは山でも矢釜敷く取り締り警察の方でも眼を皴て居る爲め此の頃では大概嬌正の實を擧げたさうである、彼等の娛樂部は山の近くに蝟集してゐる飲食店だが此中には往々婬行の潜伏してゐる處もあり又た鑛山を目當てに年々時を定めて稼ぎに廻る平壌邊りの女の群れ訪れもある、彼等の間に葛藤が起つたり、血腥臭い風が吹いたりするのは大抵此の時分である、之には將來何か方法を設けて社會的に彼等を救濟し指導することが大事だと思ふ。

▲同化可能の適例 此の山では鑛夫にも雜役にも若干の支那人を使つてゐるが其の所業の目立つのは當座の事で間も無く朝鮮人と同樣になつて仕舞ふ而かも其れは仕事の上而已でなく精神的に全く同化する。その代り朝鮮人が彼地に行つても亦間も無く支那人に同化して仕舞ふそうである。朝鮮の統治を批評する者は能く數千年來文字ある國民は如何なる政策を以てするも之を同化せしむることは不可能である抔といふ樣であるがそんな小理屈を並べる暇でドシドシ内地人に渡鮮を勸誘するが宜い鮮内に内地人が増せば増す程同化の實は顯著となる而かも被鮮の鑛まで之を繕ふて餘蘊がない朝鮮敢て廣からずと雖も方一萬五千里日本人の百萬や二百萬位這入つたとてまだまだ人口過剩を悄げる樣な心配は無い田舍を廻つて見ると此の感が切なるものがある

やゝ寒

五の日十の日掲

○燒いも落つき稍寒うなる 浮碧樓
○うら寒き瀬の流れ橋の影ある 坡柳
○吸殼いぶりやゝ寒室を立つ 句平
○稍寒う面々に吹草明れる 鳥堂
○彌る水に沿ふ花やゝ寒う 日池

日報詩壇

○月下蟲聲 栗原華陽
茅齋斜月半窓明。蛩響悄中夢未成。起捲書帷風露冷。滿光清徹雨傷情。
評曰。詩有清韻。

○中秋寄山樓雅集 安永春雨
高樓背燭倚欄干。丹醴盈觴豈滿盤。雲破山頭擊玉鏡。龍跳海上迸銀瀾。柏深夜洗盃賦。吳越幾人橫槊看。聞都霜氣峭。北征或恐桂香寒。
評曰。健筆一掃語氣太勁。結處殊深厚。

○中秋看月 高井椿堂
高樓端坐賞嬋娟。深趣初知在自然。皎月出透雲午波。滿蒼窮底鏡如圓。
評曰。句句清淨。

○月下蟲聲 西田白陰
皎皎中空大月明。叉聽切切草蟲鳴。寂寥天地白頭客。仍惹人間無限情。
評曰。眞是無限感慨。

○日下臥舟 安東琴雲
蓬窓臥覺睡眠。月掛天心一鏡圓。岸漁家燈不見。滿光如畫滿前川。
評曰。宛然世外之境。

日報歌壇

(四) 京城 高橋栞子

眼を病めばとゝろわりなし日輪に眞紅のダリヤ燃え止まぬ日も
ふと覺むれば朝のベツトにわが手冷へわびしき秋のせまり來し哉
あるかなき命いたはり世の隅に立てれど秋はくまなし

龍山 須古梭梨花

過ぎし日の君が玉章追憶の箱に秘むべき今日とはなりぬ
習慣を破る術なし今ははたおわれこばかり君に別るゝ(神谷篤村氏に)

公告

京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

㊀京城府元町貳丁目貳拾參番地
一木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪拾五坪五合
最低競賣價額金九拾四圓五拾錢也
右競賣申立人 豊田晋七
右不動産所有者 京城府西大門町貳丁目八拾七番地 大平多女助

㊁京城府黄金町貳丁目
一垈參拾七坪
最低競賣價額金貳百圓也
右競賣申立人 佐藤鐵治郎
右不動産所有者 京城府黄金町貳丁目貳拾壹番地 黄鍾燦

㊂京城府七拾七坪
最低競賣價額金參千參百拾壹圓
一地上建設木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪拾七坪五合 [illegible]
附屬 木造瓦葺平家建倉庫壹棟 此建坪八坪七勺五才
附屬 木造瓦葺二階建壹棟 此建坪參坪參合 [illegible]
多 [illegible]
外 [illegible]
最低競賣價額金四千四百七拾八圓也
右競賣申立人 洪忠信
右不動産所有者 京城府西大門町貳丁目百貳拾番地 崔昌涍

㊃京城府六拾坪
一地上建設木造草葺平家建本家壹棟 建坪拾九坪五合
最低競賣價額金貳百參拾圓也
右競賣申立人 [illegible]
右不動産所有者 [illegible] 京城府西大門町 [illegible] 八拾壹番地 金景信 式穆

㊄京城府六坪 [illegible]
一木造草葺平家建本家壹棟 [illegible]
最低競賣價額金壹百拾貳圓也 [illegible]

以上競賣期日ハ大正五年拾月貳拾八日午前拾時トス

一古木材
右拂下ク詳細ハ十月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

商業及法人登記公告

一、高陽地方金融組合理事今井國太郎ハ大正五年九月貳拾參日死亡シ同日京畿道始興郡北面永登浦 [illegible] 番地保坂 [illegible] 理事ニ就任ス [illegible]
一、朝鮮藥業株式會社取締役 [illegible] 劉鎭九 [illegible] 記入ス
一、柳基永同日監査役ニ就任シタリ [illegible]
一、依リ同日監査役ニ就任シタリ [illegible]
一、京城府 [illegible] 黄金町 [illegible] 番地
一、京城府圭洞 [illegible]
一、右株式會社三越呉服店ハ大正五年 [illegible] 月壹日各新株ニ付キ金拾貳圓五拾錢宛拂込ヲ了シ [illegible] 萬五千圓 [illegible] 金參拾五萬圓ニ變更シタリ
右大正五年十月九日登記

京城地方法院

哲理治療法原通信教授

哲理治療法の提唱せられしより茲に五星霜、自ら之を研究して不治の難症を治し、進んでは之を他に移して同胞の病苦を醫し、半死半生の人をして健全の喜びに導きつゝある所の士、國の内外に普し。而して哲理治療法の爲めに無限の實益を享け、之が餘澤を蒙りて人生の平和を樂しむ者に至りては擧げて數ふ可らず。
哲理治療法試錬の時代は已に過ぎて、之が信仰の時代は正に來れり、誇大か、詐欺か、臆病者に通有なる疑兵の迷夢より醒めて、事の眞相を檢せよ、百の迫害も千の中傷も、事實を變ずる力なきは歴史が繰返して我等に敎ふる所に非ずや。
貧乏に泣き、煩悶に苦しめられ、不治の難症に襲はれて、死を俟ちつゝある所の士は速に來りて此の活法の靈泉に浴し、以て須らく人生の萬害を洗滌すべき也。

大に醫風の改善を圖らん 島根縣安濃郡大田町 醫學士 健全哲學士 山根慶治
私は茲に京都醫學專門學校卒業以來十五年病魔に對する醫術は只一時の姑息的のものなるが如く自覺し、何か他に絶大なる眞理の存するものにはなきやと熱心苦慮し、種々心理學、催眠術、精神療法、或は宗教學を學ぶも、猶年の迷夢醒めんとして醒めず、幸に鈴木先生の御敎示によりて、初めて唯物主義醫藥主義は、一の病魔に對する補助にして治病に對しては却つて害毒なりしことを確めたり

人格の向上 岡山縣淺口郡鴨方村鴨方 正七位勳六等 森忠正
私は固來信仰の念に乏しかりしが、今日は至つて信仰の念厚く、誠で正直に誠實誠心百行一致に努力し、無意識の生活を淡泊に、心意の發揮、思想の洗練、安念迷想の解脱、健全なる信仰の實行、現實に天國の生活をなし、人格の向上に努力しつゝあり、これ健全哲學の研究により得たる利益にして即ち恩師鈴木博士の賜なり。

精神と生命 橫濱市宮川町一ノ一五 パチエラー・オブ・アーツ 矢野時彦
精神上の壽命を全うせんとするには健全の原理に從ひ、先づ精神を鍛錬し、大膽な氣象と小心にして常に恆直な思慮とを持し、意志自己を臨固にして常に心神の活力を振作し、迷妄を去り、率直にして不撓の念を有せざればならぬ。精神一致すれば何事でも成らぬ事はない。人の壽命も亦その通りである。要するに健全哲學は活力を優勢にするにあつて哲理治療は自他を救濟するものから、彼の生理的原因の如きは寧ろ殺変沙なる場合がある。

見本圖書無代進呈 東京市牛込區東五軒町三十 健全哲學館大學 發行 振替東京一八 番町七一 京六

最新思想 健全之日本 第五卷第十號 十月一日發行 定價一冊金拾五錢 半年金八拾錢 一年金壹圓五拾錢

大懸賞
本社は茲に其特別計劃により金貳千圓を提供し健全なる國民精神を鼓吹する目的を以て汎く天下の士より健全の歌の投稿を募る◎受賞人六百七人
題 健全の歌 四句六聯乃至十聯完
締切=大正六年一月卅日 發表=同 二月一日(於健全之日本誌上) 用紙=半紙十行罫紙 宛先=本社内懸賞係
賞金
一等 金參百圓 壹人
二等 金壹百圓 壹人
三等 金參拾圓 貳人
四等 金拾圓 貳人
五等 金五圓 貳人
六等 健全之日本壹ケ年分 壹百人
七等 同半ケ年分 貳百人
八等 同三ケ月分 參百人
選者(イロハ順)(已に承諾を得たる分)
學習院敎授 尾上八郎氏
御歌所寄人 大口鯛二氏
吉井勇氏
與謝野晶子氏
東京帝大敎授文學博士 上田萬年氏
文學博士 佐々木信綱氏
哲學博士 鈴木美山氏
注意
一投稿者は健全哲學の主意を骨子として作歌せられたし
一健全哲學の主意は東京市牛込區東五軒町三十健全哲學館大學出版部發行「健全之原理」及同大學講義錄に詳なれば就て參照せられたし
一入選歌はこれを東京音樂學校に委囑して作曲す
一入選歌の著作權は本社に屬し作曲上適宜修正することあるべし
東京市小石川區神田町四十九 健全之日本社 振替東京一八三九 [illegible]

哲學博士 鈴木美山先生著 ◎生活の指針◎處世の秘訣
天覽台覽 健全之原理 三版
定價金貳圓 郵稅拾貳錢 洋裝天金附 紙數四百頁
時事新報評
限ある人生を如何にすれば最も幸福に送し得るかの問題は、今日種々の形式に於て論じられつゝある所謂生活問題の根本義也、本書は即ち著者が此の實際的問題に對つて萬人の實行し得べき又理解し得可き解決を與へたるもの、中には肉體論あり精神論あり宗敎論あり道德論あり、他くまでも讀者自身の說明に委すが如く暗示的に幸福に赴く秘鍵を與へたるが如き感謝す可し又之を總括的に見れば茲に社會全般に對する一大經綸を發見せん學者政治家に殊に著者の苦心に對する此の一本を推し家長及び家政家に薦むる所以なり。
發行元 東京市牛込區東五軒町三十 健全哲學館大學出版部 振替東京八一七六

學友會例會 十月十五日
一健全哲學館大學學友會例會は毎月十五日午後六時より開會し本月よりは特に名士の講話を乞ひ來聽を歡迎す
一會費 [illegible]

獨潛艇暴行と英國
英國民武力を恃んで平然たり

倫敦にては大西洋に於ける獨逸潛航艇暴行の報道を極めて平靜に迎へ一般に毫も杞憂の風を見ざるが之れ蓋し英國が嘗て獨潛航艇暴行の際膺懲せし技能を信ずるが爲なりリヴアプール市に於ける一般人士の見解に依れば獨逸が無差別的に中立國及び敵國の船舶を擊沈するは彼れが術策の漸く盡きんとするを示すものなりグラスゴウ市民の代表的人物は新聞記者に會見し語つて曰く同市は毫も恐怖を感じ居らず人は皆英國海軍が遂に此の新たなる脅威を打拂ふべき方法を執るべきを確信し居れり又一大運輸會社の重役は曰く運輸事務は將來依然として行はるべし只運賃は保險料增徵の爲め一時騰貴する事あらんも一般運輸界には何等の影響あらざるべし之れ英國海軍が嚴重に近海を警衞し遺漏なきを以てなり（倫敦電報）

兼任外相使臣招待

寺內兼任外相は十一日午後三時英國大使を始め米、露、佛、伊の各大使以下本邦駐剳各公使を主務省に招待し就任の挨拶を爲したり（東京特電）

園侯寺伯訪問

西園寺侯は十一日午前十時寺內首相を麻布笄町の私邸に訪問し十一時退出せり（東京特電）

初總務會

新たに組織されたる憲政會にては十一日午前十一時舊同志會本部に初總務會を開き加藤總裁以下各總務出席種々協議の結果憲政會本部は舊同志會本部を以て之れに充つる事、臨時遊說部を設置する事等を可決し終つて加藤總裁より河野廣中、箕浦勝人、島田三郎、仙石貢の四氏を顧問に指名せり（東京特電）

警保局長任命

十一日左の如く辭令ありたり（東京特電）

三重縣知事 正五位勳四等 永田秀次郎
任內務省警保局長（二等）

蒙軍巴林に現はる

蒙古軍數千名熱河道巴林方面に現はれ林西縣城危しとの公報十一日奉天に到着せり（奉天特電）

支那觀兵式擧行

支那國慶觀兵式は十日午前八時擧行さる此の日黎總統は段總理と自動車に同乘し新華宮より定安門に至りそれより南苑にて約二個師團の兵を閲兵黎總統は午前十一時歸府せり沿道の警戒頗る嚴重近年稀有の殷賑を呈したり諸新聞紙は十日赤刷新聞を發刊し市中は各戶國旗を掲揚し諸官衙學校等は休業し又上海、南京等に於ても祝意を表せり（北京特電）

奉天議會開會

奉天省議會は十一日第一次會を開會役員を選擧したるが十二日より引續き開會の筈なり（奉天特電）

上旬外國貿易

大藏省の調査に係る十月上旬の外國貿易は輸出に於て米、清酒、絹、メリヤス等の增加ありたるに拘らず生糸、銅、樟腦等の減少甚だしき爲め前旬に比し一割四分を減少し輸入は羊毛、皮革類の減少を見たるも棉花、砂糖油糟等の增加の爲前旬に比し二割二分を增加したる結果輸出入差引千百十九萬六千圓の輸出超過を示せり（東京特電）

淺田大將後備

軍事參議官陸軍大將正三位勳一等功二級男爵淺田信興氏は十二日を以て滿六十五歲に達し陸軍停年服役滿限に付十二日後備役仰せ付けらるべく畏き邊に於かせられては將軍現役中の功勞を御嘉賞あらせられ御紋章附花瓶一對並びに御目錄一封下賜せられ尚近日特旨を以て位一級を進め從二位に叙せらるべしと（東京特電）

妻木博士逝去

重患に陷り居りし工學博士妻木賴黃氏は病俄かに革り十日午後終に逝去せり享年五十有八之れより先き病氣危篤の趣天聽に達するや特旨を以て從三位に陞叙されたり（東京特電）

海軍中佐露國行

海軍機關中佐河合俊太郎氏露國出張の爲め關釜連絡船壹岐丸にて十一日朝渡鮮せり（門司特電）

鐘紡の新事業

鐘ヶ淵紡績會社は[illegible]大日本[illegible]右三萬坪の敷地に於ける新事業は[illegible]よれば我邦の紡績業は紡織に進むべし染織にして先づ一萬坪を使用し漸き[illegible]に適したりとなすもの〻如く[illegible]著々進行しつゝあるが唯面倒なるは土地購買問題にて[illegible]局長より特に[illegible]段を以て人民と折衝す可きを命じた[illegible]名狀す可からざる者あるが[illegible]等を開設し又東京各縣に分公司を設[illegible]きて土地家屋を買賣し或は企鑛を經[illegible]とすれば彼等は奸譎陰險手段を以て陽には金融維持の爲めと稱し商務總[illegible]受け征業資本費を提供する爲めなりと[illegible]て新幣二百萬元を發行せんとしつゝ[illegible]

石塚長官出發

東上中の農商工部長官石塚英藏氏は十二日午後四時東京驛發列車にて歸任の途に就くべし（東京特電）

川村元帥通過

駐滿軍演習觀戰の途にある川村元帥は十日夜新義州著鐵道ホテルに一泊の上十一日新義州安東縣を視察し午前八時十分公主嶺へ向け出發せり（安東縣特電）

北滿洲通信

▲奢侈品禁輸影響　露國の奢侈品輸入禁止品の中日本にとりて最も重大なるは羽二重陶器漆器等の三四點なるが實を云へば何れも尙未だ輸入額僅少にして言ふに足らず左したる損害を目のあたり有りとも思へずなど哈爾賓の邦商は案外平氣なり尤も手袋、シャツ、絹物等にて露國の輸入禁止令に觸るゝ在庫品無きに非らざるも何とか如來を付くなる可しとて案外樂觀し居れり

▲柑類損耗百萬留　蜜柑金柑が奢侈品禁輸令の中に包含せられ居れるが浦鹽にては蜜柑を取扱ふ邦商は一兩年來增加して十二軒を數へたるが昨年十二月露國政府は突如として關稅を重加し來り實に一プードに付き一留三十五哥といへる重稅にして何れも閉口せざる無く十二軒ののみとなり專ら賃上大打擊を蒙り居りたるなり日本蜜柑は主としてハバーロフスク、ブラゴヴエスチエンスク、チタ、イルクーツクの各市に多大なる需用あり年々增加しつゝあることなるが昨年は約百萬留の輸入額ありしが元來從前此附近には中央亞細亞ダシユケンド地方より九年母を輸入したるものなり一個二十哥位なりしが日本柑橘が一度び侵入してより悉く壓せられて近年は一度も顏を見ざるに至れりと云へり尙伊露西亞には蜜柑は稀にて產地は殆ど無きに何故に日本蜜柑を禁止したるものなるか斯の如くにして露西亞人は或は蜜柑を知らざるに至る可きかと商人は語れり

▲露國の切手値上　露國は郵便稅則を改正したる結果七哥貼付したるものは十哥を又十四哥を貼付したるものは二十哥を要することゝなれり而して從前七哥切手は十哥に十四哥切手は二十哥に通用するものなりと

獻穀納受式

新嘗祭獻穀納受式は例年の通り十月十四日午前十時總督府第二會議室にて擧行の事となれり當日の式次は獻穀耕作者獻穀を捧持し道郡吏員及び警察官護衞の下に定刻式場に入り指定の席に著せば總督代理山縣政務總監以下農商工部、內務部兩長官及び兩部內主要職員入場、續て獻穀耕作者は第一米第二粟の順を以て其の獻穀を捧持し進むで之れを中央の卓上に置き政務總監受納して式を閉づる豫定なり

御下賜金分配

江原道の水害に對し　天皇皇后兩陛下より救恤資金として御下賜相成りたる金九百圓は總督府に於て調査の結果管內被害民に對し左の額を以て分與することゝなり其の旨道長官に通達分配せしむる處ありたり

金三圓也　死者
金一圓五十錢也　傷者
金一圓二十錢也　家屋流失
金七十錢也　家屋全潰者
金四十錢也　家屋半潰者

而して尙ほ總督府に於ても之が被害民に對し相當救恤の方法を講ず可く目下道廳と交涉協議中なり

李王家の祝電

寺內伯の內閣成立するや李王李太王並に李堈公李埈公各殿下は去る九日寺內首相に對し祝電を發せられたるが折り返へし寺內首相より極めて鄭重なる謝電を寄せ來たりしと

重石の大註文

朝鮮產重石の直接輸出は從來餘り行はれざりしが聞く所に依れば在京城某外國商館に對し最近某交戰國より軍需品關係にて百噸內外に達する大註文あり其の商會にては目下各當業者との間に引合中の由なるが目下重石の價格は四十四五圓見當にあるも此の大註文を途ふる關係上近く騰貴を見るべく豫想せられ居り若し事實なりとせば重石低落を喞ち居たる朝鮮當業者は一息吐くに至るべきか

水蔘收納完了

總督府專賣課開城出張所管の水蔘收納作業は十月二十五日を以て完了の豫定なりしが本年は氣候の關係上作業を急ぎたるより意外に進捗し八日を以て全部の收納を見たり而して本年の收納額は約二萬八千斤（二百目斤）の豫定なれど實際の收納量は遙かに之れを超過す可きを以て紅蔘製造額も亦從つて豫定量を越へ三萬五千斤の上に出づ可しと觀測さる

地方經濟狀況（七）
仁川商業會議所調査

▲黃海道信川郡地方

▲位置及地勢　東は載寧郡西は松禾郡に接し南は海州郡に北は安岳郡に接す郡內山多く平野に乏しく其の大部（信川邑）は四面八峯に繞れども四面八峯嶽の間に富む

▲農況　稻作　挿秧期の降雨にて非常なる打擊を蒙り農民一同恐慌なりしに其の後天候順調にして生育の狀況頗る良好なりしを以て昨年に比し一割六分方增收の見込なりとす

▲大豆　降雨多き爲め概して良好ならざりしも其の後の氣候適順なりしを以て幾分見直し爲めに昨年に比し三割方の減收に止まるもの〻如し

▲粟　比較的良好に生育し今や其の大半は收納中にあり而して其の收穫豫想は昨年に比し一割七分增收の見込なれども實際に於ては尙ほ多くの增收あるべしと

▲小麥　は播種良好にして前年に比し三割の增收を得たり大麥五分大豆二分の增收と豫想せられつゝあり

▲穀類の集散狀態　本郡は交通の便に富むを以て信川、達泉、文化、柳川の四市場に於て郡內の穀類を集め信川は載寧を經由して之れを沙里院、鎭南浦へ柳川は安岳郡北倉港より鎭南浦に文化は小河を利用し下直洞へ出で沙里院又は鎭南浦へ達泉は殷栗郡金山浦より海路鎭南浦へ送るを常とす而して之等の穀類は全部市場に出でたるものを仲買人に依りて買占められ以て沙里院南浦へ送るものなりされば各市共に非常に盛なるものにして昨年の如きは一日五六百石集まることあり大正五年一月より八月に至る八箇月間に於ける信川市場より鎭南浦へ輸送せし穀類は米[illegible]、大麥[illegible]、精粟[illegible]、小麥[illegible]、大豆[illegible]、小豆[illegible]、新米[illegible]石其他[illegible]

▲主要物資集散狀態　物資の多くは鎭南浦品にして地の利は又た如何とも成し難し然れども本年に入りて賦課徵收方面より入るものゝ多かるべき傾向あり之れ等の雜貨は全部信川に集まり更に各方面に配布せらるものなり

▲金融及經濟狀態　大正二年より三年に渉り米價の暴落に加へて東拓の土地買込みを見合せしため農民は非常なる困難に陷り倒產者相次で起りし又全部貸者の苦き經驗に鑑み農民は一般に勤儉貯蓄を旨とし作業者の如き資金に苦しみ居れりといふ今大正四年上半期と同五年上半期との郵便貯金を示せば左の如し

日本人 年次	口數	金額
大正五年上半期	九一二	一四、二八六圓
大正四年上半期	七三八	一〇、六七五
昨年に比し三割三分增		

朝鮮人 年次	口數	金額
大正五年上半期	一、八一四	二一、八九八圓
大正四年上半期	八九六	五、二六〇

在籍船四萬噸
又復五千噸級船一隻入籍

神戶船主山下龜三郎氏は今回南滿洲物產株式會社より帝國丸（五千百四十噸）を購入し之れを釜山に置籍する事となり目下手續中なるが以上を以て本年に入り新入籍船六隻二萬五千噸に及び從來の小型船七十隻一萬四千五百七十五噸と合せ朝鮮在籍船約四萬噸に上れりと

間島雹害救恤

間島にては八月中各地に亙りて降雹あり被害鮮少ならざりし旨間島領事館より通報ありたるを以て總督府にては同領事と協議し在留鮮人被害者に對して相當救恤する處ありたり

軍司令官動靜

秋山駐剳軍司令官は既報の如く八日淸津發十日朝元山着直ちに永興に赴き同地方視察の上元山に引返して滯泊十二日元山發午後四時五十六分龍山驛著歸任すべきが司令官は卽夜閑院宮殿下の御召列車に御陪乘釜山まで奉送すべし

醫師試驗日割

總督府醫院內に於て施行すべき醫師試驗日割左の如し

第一部　十八日物理學解剖學十九日生理學化學二十一日午後成績發表
第二部　二十三日病理學外科學二十四日藥物學內科學二十六日成績發表
第三部　二十七日眼科產科婦人科學二十八日衞生學十一月一日成績發表

岡田支店長送別會

建物會社京城支店長岡田法學士天津支店長に榮轉に付き有志相圖りて來る十四日午後六時より花月に於て送別會を開く由出席希望者は花月に申込ありたしと

大阪だより

▲大阪亞鉛鑛業の專務取締役醫學士政治氏は今回の戰亂の好影響にて二百餘萬圓を儲けしが其の半金百萬圓を投じて大阪に理化學研究所を起さんとする事既報の如し蓋し成金界に於ける絕無稀有の美擧とぞんじ候、而して同氏今回の擧は有力者を網羅して而も未だ成らざる理化研究所の發起人に對する絕大の刺戟劑たるべく候

▲大阪財界の重心力は那れの邊にあるや今や偉大なる中心勢力なく群雄割據の元龜天正時代に髣髴たるものあり財界を統一し之を制御して覇王たらんもの果して誰なるか山岡順太郎君いふ、蛙は口から君の志那邊にあるを語るにあらざるか、君の自愛加餐を祈らざる能はず候。

▲府下南河內郡古市村はいよ〳〵町となり九日町制施行祝賀會を催し候貝釦の製造地なり、この附近は往古文化の地史蹟の數ふべきもの多く、應神天皇の惠我藻伏岡陵、日本武尊の白鳥陵、安閑天皇の高屋陵、畠山氏の遺跡たる高屋城、皇女陵、西琳寺といふは欽明天皇の十三年蘇我稻目の創建にして本邦寺院の初めと傳へられ候

▲日本基督敎會は朝鮮人敎化のため往年京城學堂の校長たりし渡瀨常吉氏を主任として傳道を開始せし以來非常の功果を收め居り候由、右に關し京阪神在住の組合敎會信者の昨年七月以降寄附金約一萬二千有餘圓に上り居り候

▲船主側を代表せる山下龜三郎氏は澁澤男、和田豐治氏等の協力を以て今回日本海上保險株式會社を創立する事に相成り候、資本金は一千萬圓にて株式二十萬株は全部發起人にて引受く由に候專務は三菱の松木重三郎氏就任に確定いたし候

▲本期冬物は近年になき好況なりしだけ地方筋買過ぎの傾向ありとして例年免れざる棒投げを憂ふるものあり然ども本年の好況は取引學より昨秋來の大波瀾に鑑み餘程愼重の態度を執り相場も堅實なる步調を辿りて上進するのみならず市況ますます好況ぶ氣なれば賭買力以上買過ぎたりといふ可からず殊に產地狀況も第一期取引き一段落と共に綿布一割綿布五分方の低落を告げたるも安値を覗へる問屋筋は早くも第二の仕込みにかゝり本月に入りて二三錢方引締りを呈し又織用商第一の好況なりし割合に職工の不足並に原料の昂騰一方なるより例年の比例を以て增產せず從つて或は去月末の低落を以て本月の棒投げを既に演じたるものと見前途を樂觀する者有之候、要するに前途上進せざるまでも問屋筋は例年に比し手持薄を感じ第二期の準備として安値待ちの姿なるに產地の狀況は上記の如く買入あれば忽ち反撥して値押に應せざれば慣例的棒投げを免れずとするも二三錢方に止まるべく推測せられ候（大阪支局）

人事消息

▲宮崎又治郞氏（江原道第二部長）十一日朝入京
▲宮本政次郞氏（門司商業會社員）入京中の處十一日夜退京
▲山田辰平氏（實業家）入京中の處十一日退京
▲支那學務視察團一行　同上
▲山口悌一郞氏（箱根富士屋ホテル支配人）十一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲山口諸村氏（實業家）同上
▲テセボース（ペルフ氏（露國商人）同人

南蠻北語

ベルンスドルフが獨帝の親書をウヰルソン大統領に渡して波蘭人の救助を相談したと云ふ▲例の潛航艇が持つて行つた講和依賴書だと睨まれたのは此の親書であるかも知れぬ▲而し今更ら獨逸が波蘭人の救助もないものだテ▲撮う大抵は既に獨兵に蹂躙されて居るではないか▲露軍が再び進出して來る迄に獨兵は波蘭で散々つぱら掠奪横暴を極めてあるから彼れも之れも皆露兵がやつた事にするのだらう▲だが外交の逆手は最う誰れも喰ふまい時節柄妙に思はするは其の後のムシャ〳〵だ▲僅かに十五分間とは云へ此奴は凄だぞ▲戰爭中でも英國人は却々暢氣な處がある▲實業事務大臣ハーコート氏は一日議會で葡萄牙が押收した獨逸汽船を一噸一月十四志三片で賃貸すと云つた▲議員の一人が金は誰の收入になりますかと問ふと▲勿論葡萄牙政府ですとの答辯▲其金が獨逸に行く恐れはありませんかと再問すると▲其れは私に聞くより葡萄牙政府に聞く方がよいと答へて更に議員が若し其船が水雷に攻擊されたら何うなりますかと質問すると大臣眞面目腐つて左樣大方沈みませうは笑はせる▲前大隈首相は歷代の總理大臣中一番御馳走好きの大臣であつた▲其の就任以來前後二年半の御馳走費を通算して見るとザット三萬圓になつて居る▲之を二年と六箇月に割つて見ると一箇月に千圓づつになるので首相の年俸一萬二千圓は全部確かに御馳走費に充てたことになる▲能くもまあ御馳走を之れ程思ひ切つてやつたものだ

□附錄　本日再築落成號附錄四頁

朝鮮總督府勸業模範場纛島支場編纂
果樹栽培指針　定價二十五錢　送料四錢

◎京城日報評　總論、果樹園の組織、各論、果實の貯藏及其の注意、病蟲害防除法及び藥品並に蠟布調製法の五章より成り且幾多の挿繪圖解を挿入して果樹經營の方法を指導する事懇切平明なり蓋し此の種の著書少なからず然も朝鮮に於ける實際の結果に依つて成れるもの少なし敢て在鮮園藝家に一本を薦む

發賣元　京城本町一　電話六八四　振替京城二五七三番　大阪屋號書店

世界公論　十月號
人類發達の歷史と其の將來　理學博士　谷津直秀
東亞百年の安危　社說
中華民國の健康策　今井嘉幸
長壽健康の秘訣　遠山博士
法華敎より觀たる佛敎　本多日生
歐洲列强の少年軍　陸軍大尉　河原備正
現世界戰爭に獨逸の社會政策　伯林コン
大學敎授ワルデマル、チメル　安藤
行け世界一の大寶庫ブラジル國へ　農商務省調査
輕擧盲動を警む　社長
日支經濟同盟に就て　衆議院議員　今西林三郎
發行所　東京小石川大塚窪町　世界公論社　定價十五錢

本月十五日午後一時より京城岡崎町大二商會構內に於て
木材大競賣を開く
品物　鴨綠江材、北海道材、內地材板、柱、貫、小割、木摺、挽材、原木背栫角切類　各種多數
木材の需要季節は今なり御入用の方は何人を問はず御買取隨意に付安價に且御便宜に求め得らるゝ本競賣にて御買になるが最も御德用なり
材木商　登錄商標　京城岡崎町　大二商會

日韓書房
新版報告
大內青巒著　人生の快樂　定價四十錢送料十二錢
大町桂月著　誤れる文字文章　定價六十錢送料八錢
稲本日南著　清敎徒神風連　定價一圓二十錢送料十二錢
大町桂月著　讀書作文正しき用字法　定價八十錢送料八錢
松林伯知講演　水戶黃門　前編の上　定價六十錢送料十錢
京城本町二丁目　日韓書房

銀行會社官吏鐵道員養成
講義錄
速成四ヶ月卒業　會費二圓二拾錢　校則進呈　東京芝公園　大日本國民通信學校
卒業者は各自希望通東京は勿論全國へ直に就職せしむ

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗　サクラ正宗
京城明治町二丁目　山邑京城支店
電話　八一四　四五　九四番
振替京城五七番

花火は　京城三坂通四十七番地　綴屋煙火製造所　電話二八七三番

……として明年六月拂込みの新株一株……五圓宛を徴收する事となり（會社に……は徴收の必要は事實なき也）たるが……一名到著し愈り兩名は他日來任の筈なりと云へり鐘紡當局が信ずる所……

●四鄭鐵道建設

四鄭鐵道敷設に對する測量其他の事務は日本技師長統率の下に故障なく……を補ひ張省長は趙候補知縣を四鄭沿線に派して各縣知事と會同して……

……黑龍江省は單に紙幣……通用する處は只だ不換紙幣あるのみにて幣制の紊亂極點に達し危險の情……千萬元の株金を以て開業せし廣信公司は今日迄に紙幣數千萬元を發行して廣信大錢廠廣信電燈廠……發行に次ぐに發行を以てして……制限なく歷任の將軍省長等は其弊に堪へずして之れに大斧鉞を加へん……發行して懼らざるを以て紙幣の氾濫……益々甚だしきを加へ來り終に救濟の法なきに到れり最近赤軍長の指名を……

匂ひ床しき花嫁姿

●秋かけてお芽出度づくし

此頃は出雲の神樣もお忙がしい　嬉しさうな若夫婦が出來るわく

京城の秋から冬にかけてはお芽出度い結婚の數が非常に增加する現に三越呉服店で華々しいお支度の出來たものでも九月中に二十組以上本月に入つていよく多く

▽十一月は絕頂 であらうと言はれて居る何にしてもお芽出度い婚禮の多いのは誠に結構な次第と云はねばならぬがそれにしても結婚が忙がしいのは南山神社の社務所である昨今秋の大祭を控へた社務所では殆んど毎晩のやうに神前結婚の式典をあげる有樣今年は何うしたものか非常にお芽出度が多いのである

▽其年齡は主に 花婿が三十歲前後花嫁さんが二十歲前後中には四十幾つの男に三十餘りの花嫁も珍らしくない花嫁の綿帽子は昨今廢れて何れも鉢卷が多く昔しのやうに譯もなく羞恥しがる花嫁が尠ないとは面白い現象であるまた晴衣の調度を仰せつかる三越のはなしでは昨年は稀らしく結婚式が振ひませんでしたが今年はまた非常にお芽出度い方が多いやうでございます

▽花嫁樣の御用 は立派なお邸になりますと已に三四箇月も以前から御注文がございますので京城でも先づ七荷十三荷程度の立派な御輿入れも稀らしくございません就中昨今弊店で急いで居りまする某家のお拵へはなかく美事な物でございますが先づ唐錦織の打掛けに裏地は紅羽二重といたし出來上り百八十圓のものとそれに白の唐錦織打掛け

▽裏は白羽二重 の百五十圓また振袖は黑縮緬の胸、袖、裾松竹梅の大模樣といたし何れも有職式御殿模樣の美事なものでございます猶ほ同じ模樣の紅の中著と同く白の下著で全部縮緬の揃でございます次にまた色物の縮緬振袖は時節柄野菊等の草花をあしらひまた白木紋綸子の振袖二枚重ねと黑縮緬留袖二枚重ね色縮緬留袖裾模樣四枚重ねは何れも昨今

▽流行の裾模樣 で一重ね八十圓乃至百圓の品でございます、其の他丸帶は老松に孔雀及び草花をあしらひましたもので一筋二百五十圓位ゐのものと五十圓乃至百五十圓のもの六七筋お召になりました猶ほまた縫紋付二枚重ねに縫模樣二枚重ね並びに夏物の裾模樣ものなどから綸物お召三越縮緬等澤山の御注文で且つまた

▽簞笥長持鏡臺 針箱、ハンカチ、手拭まで御準備中でございます併しこれなどは京城での代表的なものを擧げましたもので一般に御用の多いのは黑縮緬及び色縮緬の裾模樣です、これは譬り幾分略式になさいましても黑の裾模樣は是非必要でございます從つて色ものゝ必要な譯でございます、併し近頃は何事も簡便が貴ばれて婚禮の儀式や祝も崩れて來ました猶ほまた

▽芽出度い儀式 に色の褪せ易い紫色を忌むとか紅葉、藤模樣を厭ふといふやうな御注文は廢みまして一般に優美な模樣が悦ばれるやうでございます

●悲しき運命

操を守つた寡婦

四千五百餘圓請求訴訟　慰藉料及び損害賠償金

京畿道楊平郡雲岳面沙龍洞韓氏事淑鄕及び同人孫李希男の兩名は京城長谷川町居住金正穆辯護士を訴訟代理人として同里居住の里長鄭時永を相手取り慰藉料及び損害賠償金合計四千五百十九圓六十錢の請求訴訟を京城地方法院に提起せり原告の訴訟要旨に依れば韓氏の實子李洪在は明治三十三年中當時十八歲なる金氏を妻として迎へ兩人の間に一子李希男を擧げ李洪在は翌年病死し妻金氏は十九歲にて寡婦となりたるも姑韓氏に仕へ倅の成育を樂みつゝ本年三十四歲に達する迄堅く

▲貞操を守り 僅かに紡績の手內職を以て一個年五十圓內外の收入を得て一家三名の露命を繫ぎゐたるに去る八月四日夜前記里長なる鄭時永は突然韓氏宅に突入し金氏に對して怪しからぬ振舞に及ばんとしたるより金氏は極力抵抗したり然るに其後鄭時永が何事か誣告したるものゝ如く韓氏及び金氏の兩名は楊平郡淡院憲兵派遣所に拘留せられて取調べを受けたるも同月十一日歸宅を許されたるに同夜鄭時永は又々韓氏宅に赴き憲兵所で取調べを受けるとは不屆なりと韓氏を毆打し韓氏は爲めに昏倒したる際金氏に對して又も言ひ寄りたるも

▲金氏が抵抗 したる爲果さゞりしが金氏はそれを苦にして同夜遂に縊死するに至れり之全く鄭時永の不法行爲に基くものにして是が爲祖母及び孫の兩名は生計に困窮しつゝあり依つて兩名へ慰藉料金一千圓死亡者金氏へ同じく二千圓、金氏が尙生存し居れば一年間五十圓の收入あるものと標準して向ふ二十七年間の收入並に金氏の葬儀に要したる費用等を加へ合計前記の金額を定め右の訴訟に及びたるものなりと

●神輿行列

京城神社の秋祭は十六日が宵祭　氏子衆の意氣込み

例年の如く京城神社の秋祭は來る十六日午後七時より行はるゝ宵祭に始まりて引續き十七、十八の兩日盛んに執行せらるべき筈にして既に去月末より同神社並びに本年の當番たる大祭委員に於いて

◆著々その準備 を進めつゝありしが此程に至り諸般の用意全く整ひたり、然して昨年は共進會の賑ひのために餘り多く市民の注意を惹かず、各町にても乘氣にならざりしが今年は一時市民を恐怖せしめたる惡疫も殆んど終熄に近づきし事とて特に盛大に之れを行なふべく祭典の執行順序はその第一日たる十六日は午後七時より神殿を裝飾したる上京城神社に於いて前夜祭を行なひ第二日たる十七日に至れば午前八時より齋主齋員祭典委員係員等

◆一同參列して 大祭式典並びに御發幸祭を奉行し右終れば警蹕奏樂によりて御發幸、大祭委員長以下氏子總代その他の諸員供奉し左の道筋を經て午後六時齋龍山本願寺前より和歌の池畔なる御旅所に御著同所に御一泊

▲總督官邸前▲日の出小學校南側（休息）▲大和町▲新町午前十一時（休息）▲本町通赤門角（休息）▲京城府廳前午前十一時半（休息）▲南大門通正午▲御成町▲岡崎町午後三時（休息）▲古市町（休息）▲南大門停車場前午後四時（休息）▲漢江通電車終點▲龍山停車場▲旭橋通▲元町通本願寺前（休息）次で御旅所著同所御一泊（午後六時）

十八日は午前八時御旅所に於いて御發幸祭を行ひ同九時御發幸左記の道筋によりて同日午後五時本社へ還御直ちに還御祭を行なひ午後十時御鎭祭を行なふべし

▲神輿御旅所發幸午前九時▲元町通三、四丁目阪の上（休息）▲元町通四、三丁目▲元町通二、一丁目▲元町憲兵分遣所前午前十時半（休息）▲青葉町（休息）▲太平通（休息）▲南大門停車場前午前十一時半（休息）▲南大門通一丁目▲鍾路一丁目午後一時（休息）▲太平通一丁目▲明治町一丁目▲京城日報社前正午（休息）▲南大門通▲明治町二丁目▲黃金町二丁目▲本町一丁目▲赤門前午後四時（休息）▲日の出町▲總督官邸前（休息）▲本社還御午後五時

而して神輿行列の順序は鐵直垂の武者一騎續いて金棒曳、紅蓮、大太鼓、先導と爲り大麻榊、社號旗、猿田彦、前驅神職、天眞榊、金幣、御飯、荷太鼓、之れに續きその後には神輿、唐櫃、神馬、齋主、委員總長、副齋主、齋員神職並に各宗教神職、各町提燈名旗、祭典委員

◆一般奉送者等 にして威容堂々前記の御道筋を練りに練つて龍山の御旅所に往復さるべく茲に

特に注意したき事は 神輿行列通御の際市民が高所より瞰下ろさゞる事にて二階等の窓口などより奉送迎する時は行列は忽ち行止まりて進まざるべく延ひては騷動を惹起する事なれば注意を要すべし

●這度はペスト

東洋紡績に發生

伊勢四日市東洋紡績會社に十日ペスト患者發生せる爲め大阪にては大警戒中なり（大阪特電）

●東西合併相撲

東西合併大相撲は三十一日より大阪にて興行に決定せり（大阪特電）

●床屋の倅と執達吏の娘

何れも文展に當選す

大阪にて文展洋畫に當選せし者の中黑田信（二四）は理髮屋の息子にして又井上よし子（二四）は執達吏の娘なり（大阪特電）

●屋根に穴

京城鍾路五丁目李南榮（一七）金昌兆（二四）の兩名は共謀し九月十三日午前二時半頃禮智洞朴仁泰方に赴き土塀を乘越ゐ屋根に這ひ上り瓦を剝ぎて穴を穿ちて侵入し金庫の錠前を捻ぢ切りて在中金七十……

◆虎疫退治の祈禱

靈驗顯なる南廟前にて

府內鮮人側の虎疫退治はこれまで官憲の注意と各自の用心によつて充分に行はれて居るが十一日はまた府內南廟に於て虎疫消退の祈禱が行はれた由來南大門外三阪通りの南廟は鮮人の崇敬篤く平生とか願事に靈驗あらたかな神樣として祀られてあるが近頃もコレラ流行の折柄とて一般鮮人は此處に祈願する者が尠くなかつた、そこで十一日の祭典は秋日和の正午から始まり參拜者には南廟維持會の肝煎連五十名を始め男女百餘名、なかくの盛典であつた祭壇には神前の燈火及び祭饌等を供へ了つてから趙重應子爵の初獻あり次いで宮鍋本町署長の亞獻あり更にまた阿部本社長の終獻を了つて午後二時式を閉じたのであつた、猶ほ宮鍋署長は參拜者一同に對し惡疫豫防の衞生講話を試み一同と共に惡疫退治衆生安全を祈つて歸つた

●數十戶に放火

高陽郡崇仁面貞陵里柳姓女（三五）は居里に於て火災ありたる際消防に盡力したる者には罹災者より酒食の饗應をなす風習あり自分も其の饗應に與からんと昨年十月十三日より本年三月二十六日迄に前後十數回に亙り同里の柳興植方外十餘戶に放火し尙三月中所轄警察署より警官出張し取調べに際し自宅にも放火して一部燒毀し放火の事實を隱蔽したる一件は十月四日京城地方法院にて柳姓女は懲役七年の處分となれり

●彌生遊廓稻荷祭

龍山彌生町遊廓にては十二日稻荷祭りを行ひ同日午後五時より神輿を擔ぎ出して樓主連は揃ひの輿丁姿にて廓內を練り步き尙ほ引續きて乙種藝妓連が屋臺を引き廻る由同夜掛小舍にて同連中の新派素人演劇ありと

●花園婦人會

十二日午後一時より妙心寺別院にて開催し後藤瑞巖老師の法話あり

コレラ彙報

▲藥水の傍の土穴中に屍體

十一日午前京城社稷洞の山麓の土穴中に年齡三十五歲位の乞食體の鮮人男一人死亡し居れるを發見したるものあり屆出でに依り鍾路警察署にては即時防疫所醫察醫共に現場に急行し屍體の檢案をなしたるが附近には夥しき糞便を排泄しあり赤痢にて死亡したるが如き症狀なるを以て屍體は火葬に附したるが時節柄念の爲め糞便を檢鏡したるに十一日午後に至り眞正コレラ菌多數を發見したるを以て鍾路警察署にては直ちに大活動を開始し死者の橫はりゐたる土穴は勿論附近に藥水ありて常に飮用者多きを以て取敢へず第一是が飮用を禁じたり尤も死者は末期の

水を飮まんと藥水の邊りに至りて絕命したるものにて尙ほ其の下流は小川となりて需昌洞初め數洞を貫流し居るを以て件の小川には石灰を投じて一切使用を嚴禁し尙前記社稷洞、需昌洞、弼雲洞、內資洞、唐朱洞の五洞を警戒區域として大仕掛なる檢病的戶口調査を開始し各洞の共用井戶の使用を禁じ上水共用栓を開放したりと因みに死者は常に

市中を徘徊し各戶の塵溜箱を漁りて拾ひ食ひをなしゐたる形跡あるを以て多分それが爲めコレラに感染したるものならんと

▲大邱に漸患者九名

大邱に於けるコレラは其後減じて七八兩日には一名の新患者なかりしが九日午後四時より十日午後四時までに保菌者一名吐瀉患者八名を發生し中七名は疑似コレラと決定し七名は既に死亡せり新患者は九名共皆鮮人なり（大邱）

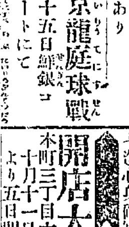
▲防疫費の寄附

京城府廳麻浦及び龍山にては過般より十餘名のコレラ患者發生し官民協力して之が豫防撲滅に從事し居れるが殊に交通遮斷區域內の貧民救護及び防疫用品の購入等には費用を要することゝて同地方在住の有志者は此程右の費用として各頭書の金品額を寄附したりと

▲金百圓麻浦消防組頭金俊基▲七十圓及び白米二石金順基▲三十圓崔鼎九▲二十圓山手町陶裕培▲三十圓趙明▲三十圓漢江通十六番地五島榮藏▲五圓大屋德次郎▲金炳昌氏は特に防疫に從事し居れる消防手に一人二十錢宛を寄贈し居れり

▲龍山の銳意防疫

京城府內の虎疫は極力防疫の結果其の後續發するに至らず目下の所龍山麻浦に幾分の患者あるのみ龍山分隊にては極力之れが撲滅に努め以前漢江沿岸の看視に從事しゐたる憲兵全部を七日限り引揚げ補助員を加へ總員三十一名に檢疫醫、人夫六名、消防手十二名の應援隊と共に交通遮斷區域の警戒豫防等に極力努め矢野分隊長は自ら每日現場に出張して檢病的戶口調査、清潔掃除、煮沸水の備附、鼠及び鼠の驅除、塵芥の燒却、一般消毒、飮食物の取締、避難逃走者の取締等に從事しつゝあり



▲京龍庭球戰

十五日鮮銀コートにて

京城庭球倶樂部對龍山鐵道倶樂部庭球第二回戰は來る十五日の日曜を期し朝鮮銀行コートに於て擧行する事に決し若し當日雨天ならば十七日の神嘗祭を以て行はるゝ筈にして本對抗競技は今春より開始せられ朝鮮運動界に於ける唯一の興味ある競技たるは勿論今春の第一回戰に於ては京城の勝利に歸し居る關係上今次の第二回戰は龍山軍に取りては是非勝たざる可らざる復讐戰の意味し京城方亦第三回を俟たず一蹴し去りて優勝せんと兩々日頃より猛烈なる練習を積み……京城側の出場選手は多分……等ならんと

▲水藝來る

曾つて露西亞地方に赴き居りし奇術水藝の泰斗吉田國五郎は今回歸朝の途次有樂館に於いて十三日より向ふ一週間露西亞土產として奇術應用の水藝を演じ尙ほ活動寫眞には露西亞冒險奇談猿ケ島全十八卷の內前編七卷、喜劇には松平外記全四卷等を上場し臨時特別大興行として開演する由

▲壽座

市川市十郎一座十二日よりの替り狂言は前狂言……その役割左の如し

▲秀頼、おその、義峰（綠左衞門）▲主膳、修理之介、長門守、半七、うてな（長之助）▲淀君、三勝、お舟、腰女▲片桐且元、半兵衞、六藏（雁十郎）▲大倉局、班頼、三太（九十郎）▲藤田隼人、左吉（國太郎）▲大久保、宗庄、宮坊（小文治）▲後藤又兵衞、頓兵衞（市十郎）

▲浪花館

女浪花節日の本三都子の初日は十二日なるが初日の讀物は長州萩の夜嵐（前田伯爵家）黑田武士母里太平日の本三都子たり

京日案內

普通一回前金三十錢　番外一回前金六十錢

▽普通

大會社大商店向特種カレンダー　見本著御報御伺　現品十二月渡　本町ツヽボヤ 427

●行商婦人募集　市內に於て石鹼粉行商希望の婦人は來談あれ　蓬萊町四丁目東亞牧場電五一三番 513

●店員入用　歲十六歲前後市內保證人を要す本人來談あれ　遠藤味噌醬油店小賣部 509

●乳飮兒預りたし　先月出產して良乳澤山出ます　太平通二丁目八九松本方へ御來談を乞ふ 511

●借家を求む　日本建間數七八間以上旭町一二丁目南山町附近を望む本町明治町黃金町及（姓名在社）498

●婦人記者及女外交員希望者を採用す　履歷書携帶本人來談あれ　吉野町大日本新聞朝鮮支局 500

●店員募集　吳服商經驗有る者廿一より廿四五歲迄一名十四五歲の小僧一名望者履歷書持參　春川大和屋 496

●金融　月收の御方へ信用極秘立替　御報伺上候　花園町八七本町電東邊　大和屋質商 479

古本なら野村　買入誠實御報參上　明治町筋電二六三　野村書店 431

番外

●求婚　鮮人農業にして恩給を有する齡卅一單身妻無し廿一二より廿六七迄心身確實なるを求む　姓名在社 490

開店大賣出し　本町三丁目六番地（魚市場筋向ひ）十月十一日より五日間　正札屋書店 510

電話開通御披露　京城府大平通二丁目大漢門側　電話二九一三　諸紙防水具商　高橋支店 508

◎新派劇演劇衣裳貸元　餘興舞踊さらゑ衣裳類安く貸ます　御報次第參上仕候　黃金町四ノ二三一　三浦屋 507

店員入用　年齡廿歲以上廿五歲迄甲種商業學校卒業程度履歷書携帶本人來談あれ但し市外身元保證人を要す　京城旭町二丁目　朝日石鹼製造所 512

店員募集　十五六歲より二十歲迄の者數名入用希望者は至急來談あれ但し市內に確實なる保證人を要す　永樂町二丁目　播本商店 501

宅地放賣　市內笠井町市區改正道路に面の宅地數ケ所あり希望の方は至急申込あれ　官吏會社員商店向　差配　南大門通三輪商店 506

土地買入　京城一里內外に畑又は未墾地五町步より十町步迄買入たし希望の者は至急申込あれ　南大門通電一九九五　三輪商會 505

◎病人寢臺車　普通病用　傳染病用　各別々に輸送設備有之候　京城本町二丁目電話百十六番　京城醫師會御用　前山組 418

◎京城春川間行自動車貸金片道四圓　每日午前八時出發　◎南大門通一丁目電話二一九番　廣橋自働車組　主務金正淵 428

▲鑛物各種分拆　京城太平通二の二三〇元朝陽分拆所　電話二八二三　松永分拆所 448

恩給年金低利長期即金立替　京城永樂町一　地方同業店取扱債權特別低利讓受　商品陳列館前　江州屋本店 451

立替資金　恩給年金受領の方へ　並に公債債券買入　仁川山手町穴門通　仁川葬儀社內　會田 453

質　よろづや質店　京城太平通一丁目　京城日報社右側 472

讓りたし　完全なる大ピアノ二臺　英國物鋼鐵製金庫一個　（姓名在社）480

●銃砲火藥獵具　京城本町三丁目電話二〇九二番　增戶銃砲店 488

有給外務社員採用　京城鍾路通一丁目二十二番地　日本國債債券株式會社朝鮮總支部 493

物品購買公告

一、藥　六十點

此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上

入札者ハ京城府內ニ於テ國稅地方費納稅者ニシテ二年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル

大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ向ハ本府會計係ニ就キ仕樣書見本等熟覽ノ上十月十四日午前十一時限リ同會計係ヘ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ朝鮮總督府尹金谷充擔當ス

大正五年十月九日　京城府

職工募集

仕上師、機關師　拾五名

旋盤師　三名

募集希望者は來所あれ試驗の上採用

京城鐵工所

仁川　白神洋行　京城

鐵　鋼材　浪板平板　針金洋釘　新田帶革總代理店

ペイント油類一切　マークスセメント　耐火煉瓦、モルタル　スコップ、シヤブル　帶革、ロープ　機械、工具　附屬品　共他

物價表御一報次第無代進呈

新刊書御案內

書名	著者	定價
御大典記念ゴオンヨー	是利武千代	二〇〇
日本民法對比獨逸民法	荒波正隆	八〇
西洋上古史	村川堅固	一七〇
ワオード社會學	藤森達三	一五〇
シーガー經濟原論	石澤久五郎	一五〇
日本氣候學	中川源三郎	二五〇
新譯輸入イソップ物語	楠山正雄	一三〇
小學教育の新方向	小學教育研究會	六〇
露國研究	教育學術界編	一〇〇
投入と盛花挿し方	野田地州	六〇
和漢古錢通	末松鋼次	四五
新譯西洋品性論	栗原古城	一〇〇
快心錄	横山健堂	一二〇
小說うき苦勞	鈴原溺菜	六〇
男讀むべからず	丹いね子	七五
實際に往復せる商用通信文	朝野文三郎	八五
手形のいろは　新しい珠算の秘訣	佐々木政吉	五〇
大正六年度東京遊學案內	帝國教育會	五〇
學校家庭井上英和中辭典	井上十吉	特一一〇
同新らしき叢集澤山著荷致候		各二二

大阪屋號書店　京城本町　電六八四二〇八六　振替京城二五七

女鳩 渡邊默禪

(二二九) 誰やら庭に

お秋は住江の顔色が變つて、苦しさうに咳込むのを見て、急いで土瓶の水を飲ましてやつてから、後に廻つて背を摩つたりした。

『貴女、少し沈着いておゐでなさいよ。今におさまるでせうから……、あゝ私悪かつたのね、餘計な話なんかして……こんな時に吸入をかけると可いんですが、それも充がつてくれないなんて隨分ですわね。』

『いゝえ、どうせ苛め殺されるんですわ。それがまだ死なずに居るので一層憎らしいんでせうよ』

『そんな與迦な話があるもんですか』

咳は收つたが額に手をあてゝ見ると灼けるやうだつたので『貴女、又た熱が出たんぢやなくつて』

『え、何ですか、體が倦怠くつて仕樣がありません』

『少しお頭を冷やして上げませうよ今水を取替へて來てね』

『どうも濟みません』

お秋は枕頭にあつた白蠟塗の金盥を持つて、足音を忍ばせながら臺所へ出た。と暫時してから慌てた顏をして戻つて來て、

『住江さん、變ですよ、餘程變ですよ』

と微聲に力を入れて囁く樣子が、尋常事らしくはなかつた。

『え、何です』住江は思はず首を擡げた、その面を目成つた。

『私、お臺所の洗水槽に下りて、水道の水を出してから、金盥を持たうと思つて、ひよいと手をかけた時ですよ。戸外の方でばたばたツと草履の音がするんです。をや今時分に誰だらうと、何ですか無に慄然として聲をかけようと思つたんです、だけども此方も内所でせう、お前何の爲に夜宵中お臺所に行きましたなんて後で文句を聞くのが可厭ですから、少さく竦まつて耳を欹てゝゐると、それが一人ぢやないんです。二人か三人で何かひそ〳〵囁しながら、裏の方へ行く樣子ですから、怖い物見たしで、窃と洗水槽の窓から覗見をして見ると、まア如何です、住江さん。ちやうど垣根のところに立つてゐる三人の姿が見ゐるぢやありませんか、たゞ戸外は月夜なんですよ。月明りでぼんやりと見ゐた天窓の形好は、どうしても男ぢやないから不思議でせう。女ですよ、確かに……奇態ですわね、住江さん』

住江は始めのうち何を言ふかと思つた。が、三人の姿が男らしくなかつたといふ一語に、那かは知らず胸に蟠まつた或物へがつちりと觸れたやうに直覺せられて、異樣な顫ひが心窩の周邊に起つた。

『それで如何したんです。只立つてゐたゞけですか』

『いゝえ、彼處に土藏があるでせう。その土藏の方に行きましたわ』

『はツ、土藏に?』

『え。で、どうするだらうと見てゐますと、一人が戸口に上つて今開けにかゝつてゐるんです。泥坊ですよ。あれは……必と爾うですよ。如何しませう、住江さん。秀子さまに爾う言つて、警察へ電話をかけませうか』

『不可ません、そんなことを爲ちやあ……どうぞ靜粛にして下さい』住江は少頃思案して『お秋さん、ちよいと』

『はア』首を長くした。

『貴女、お願ひですがね。こつそり通用門から表へ出て、あの遠州屋といふ車宿を起して下さいませんか』

『車屋を起すんですか』

『いゝ、夜半に出るのは薄氣味が悪いでせうけども、私此の通りなんですから、どうぞ』

『いゝえ、何處へでも參りますわ。大變な場合なんですもの』

『で、怎々だから若い衆にみんな來て下さいつて、こつそり連れて來て下さい。それから誰か一人だけ鈴木さんのお宅へ行つて、賊が入りましたから直とお出くださいと、爾う言はせて下さいな。一切家の者を起してはなりませんから、そのつもりでね。よござんすか』

『は、承知しました』

お秋は褄をからげて、密かに水口から出て去つて。

銃の修理は多年の經驗と獨特の技工と完全なる設備とを有する 龍山元町二丁目 玉井銃砲工場

齒科診療 南山町三丁目巴城舘迦 電話二九二〇 齒科醫學士 橋本清次郎 橋本齒科醫院

□湖南吟社句集

秋の空

碑文刻むに濡れし蓆や秋の空 雅溪
晴れし眼に矢走す歸帆や秋の空 同
紀念碑の除幕に高し秋の空 青峰
丘の牛麓の牛や秋の空 十亭
秋の空や御野立高く鳶舞へり 中京
秋天や及物鍛冶屋の湯の匂 可硯
旅立つ子に照降りの傘や秋の空 淡水
磐石に細する寺や秋の空 待宵
秋天に振り上げて見し腕太り 風骨
秋天に響けよと財布鳴らし兒 同

虫送

水紛擾ありし川原や虫送り 西水
騷送の草鞋重たき家路哉 雅淡
虫送り岸に魚よる捨篝 同
虫送の灯の細り行く川邊哉 青峰
松明にしとゞの草や虫送り 十亭
虫送眉毛燋きし子咳けり 松年
虫送りの松明束ねる闇の厩口 風骨
虫送のどよめき現夢に入る 同

目白

裾野なる切出す石や目白啼く 桃雨
目白飼ふ餘生わりなし寺男 同
眼白來鳴く庭の古松苔蒼也 松年
目白鳴く森の秋の日暮れに晃 不醉
奈良人形の眉書く窓や目白鳴く 青峰
妻去るに夕雲低ふ眼白啼く 千里
モデルに動く目白の前や女繪師 雅溪
苦茗煮る松籟遊めり目白啼く 淡水
眼白十兩の士族の鳥屋飼ひほこる 風骨
油小賣の山家に目白囮せり 同

新刊紹介

▲探偵雜誌(十月號) 本邦に類が無いのと内容が充實し嚴粛し眞面目で興味津々たるとの點で一般社會から非常なる歡迎を受けて居る本號は犯罪心理學、鑑識と犯罪との關係、殺人犯罪搜査に必要な研究心理學應用の巧妙なる探偵術、少年殺人犯罪探偵に就て殺しの怪裁判、死刑囚が無罪になつた實例、化けて探偵した祖膝、大阪五年間紙幣贋造賊電小僧捕縛の顚末、東京女囚監の二週年間の事件探偵の眞相、探偵實話の寄書等を網羅し賊の用ふる記號等探偵資料の光彩あり大膽實の發表及び寫眞あり一般家庭にても大に讀むべき雜誌學生乃至一般家庭にても大に讀むべき雜誌である(十六錢東京日比谷實業之世界社)

▲『天晴男』(講談倶樂部秋季增刊)『天晴男』の一部何て痛快なる、秋天高く此岸な聞けば直ちに其人物の誰なるかな想起して已まないのは人の常情である、續き出さるゝ通日に日(廿錢本…)

くら頭形火事『前田吸山』荒川荒五郎『江見水蔭』『山中鹿之助』『愛想兵衛』『塚原一甚』『隨想兵衛』『實右衛門』『血人名五郎路』『今瀬僞雄』『名村長兵衛』『大河内蔵一步』『河童文助』『松月堂青山』『釣鐘彌左衛門』『玉龍招い陰羽秘』等間『松園家熱浪界許判記』山崎讓花等を其主なるものとし尚ほ落語、漫畫、お伽噺を初めとして讀むに足るべきもの頗る多く加ふるに同誌上には付て寡集したる排句の大懸賞裝等ありて盛觀を極む(三十八錢本郷駒込阪下講談社)

▲雄辯(十月號) 後藤男の『眞正文明の生活』片山博士の『予の如何に救濟意見』等を卷首として八淵蟠龍師の臨醇和書前說、井上角五郎氏の勤勞泄淚の問責演說など時節柄一讀すべく懸賞五分間演說、青年學生の雄辯練誌など生々發刺の氣を誌面に横溢し居れり就中沼田中學校教諭系良雅亭氏の筆になる『穂富蘆花物語』は本號中の見るべきものにして今後三箇月に亘りて連載さる管横井小楠新島襄など當時の志士仁人を拉し來り巧に蘆花兄弟の生立を描きたり選筆亦た頗快妙文字たり(卅錢本郷區坂下町大日本雄辯會)

▲常識と科學(十月號) 十五錢東京市牛込區市谷左内町三〇松美社

本社構内電話復設

交換臺を復設致候間爾今本社へ御用向きの方は一日『京城日報社』を御呼出し被下(尤も番號御呼出の必要無之候)更に左記の番號に依り御電話被下度候

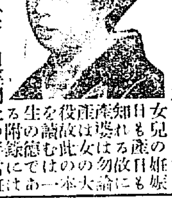
京城日報社

編輯局
- 一番 社長
- 二番 編輯局長
- 三番 政治部 經濟部
- 四番 社會部 論說部
- 五番 編輯部 校正係
- 六番 書記
- 七番 毎日申報 幹部
- 八番 毎日申報 編輯部
- 九番 應接室(竹の間)
- 十番 來賓關

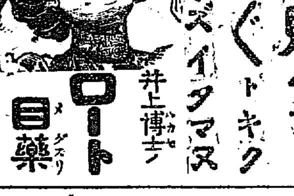
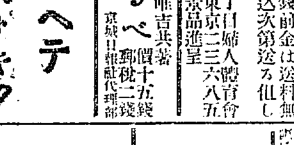
營業局
- 一一番 經理部長 營業局長
- 一二番 經理
- 一三番 廣告部長 販賣部長
- 一四番 外交
- 一五番 毎日申報 廣告係
- 一六番 販賣係
- 一七番 京城日報 廣告係
- 一八番 販賣係
- 一九番 代理部
- 二〇番 第一室
- 二一番 應接 發送部
- 二二番 寫眞部 植字部
- 二三番 整版部 守衛

皮膚病 皮膚 徽毒 淋病 勝胱 生殖器 機能障碍
皮徽科 入院隨意(診察午前九時迄) 京城明治町二丁目(元勸工場) 佐藤醫院(電話一一七三番)
日曜祭日午後二時迄

たんせき 喘息
一夜で止る程不思議な藥
他に類なき不思議の藥は東京醫科大學病院勤務の林、上田、志賀の三醫學士が公務の餘暇呼吸器患者の爲に研究實驗の結果公表せられしものにして其奏効の迅速なる一夜で治るかと思ふ程にて鈴木博士を始め諸大家の證明せらるゝ處なれば引風はやり風より起るたんせきぜんそく小兒百日咳等にて咽喉痛み音聲嗄れ呼吸苦しく夜眠られず痰切れ難くゼー〳〵苦しむ人其他咽喉氣管肺弱く音聲濁り高聲出でず常に咽喉に痰がからまり氣分悪き人は速に服藥して幸福を得られよ
藥價一週四十錢二週七十五錢三週一圓 本舗東京市本郷春木町太陽堂藥局

女にはらむ日とはらまぬ日あり

豚は廿一日にも必ず妊娠日の前知と分娩期の起算 女は年中妊娠日あら春秋に姙 多くも必ず妊娠日の前知と分娩 如く女は一年中三百六十日は僅に十日にれば不姙日 ... 婦人の心得ふべき月經閉止の手當一切の判る法 産の心得育兒法、子宮一本の療法外數十種の衞生を逃べたり滿家庭を讀は女として男として變に此回大割引僅四十八錢前金は送料無料後金はハガキで申込次第送る但し寄送小包料增し 東京京橋新榮町三丁目婦人館 振替東京二三六八五 此際注文者に御家資景品進呈

▲富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

目ニ見ヘテ ズンズンドキドキ シユマズイタマヌ 井上博士 ロート目薬

眼病を、不潔い布や指で摩るのは目の爲に悪いからロート目藥には消毒した布と下圖の樣な新案の點眼器を添えてある
定價 全國各藥店にあり 大瓶廿錢 小瓶十錢 本舗…東京…大阪…山田安民藥房


質 京城黄金町二丁目 永樂町(停留所北入) 堀佐營業所(電話六三九番)

どもり(吃音)が治る
△進歩した學理は新時式の賜▽
△多數の全治者は卓効の實證▽
訥辯の人が話する間の拔けた樣なことでも話者が話すと面白くて人が腹を抱へて笑い興ずるのである殊に用談に至つては自分の胸にあることを充分に言表はして相手の人に得心させなければ出來る相談も出來ないか生存競爭の今日の世の中では言語が何事にも先達つて大切である世間には往々ある同情すべきどもりの人は心に思つて居ながら十が一も話せなくて人に通じないから心の戸を閉ぢられた樣なもので鳥渡した座談さへ喉まで出て居る思いが容易に口に出ず聞く人までも苦しいのである吃音は吃音を治さんと讀時代には神佛へ願をかけ又は禁厭などをしたものであるが此樣なことで吃音が治る筈がない今日の進歩した醫學界ではどもりの原因も發見せられ治療法に就ても斬新なる學說が現れたのである此治療法に就て新智識を實地に應用して人助けをせんと長い年月の熱心に老若男女數多の吃音者に就て研究し遂に成功せる新治療法に依れは生れ付の樣な吃音でも又物を云出すにも急に出ない樣な難症でも一日毎に吃音が減り指折り數へる短時日の中に水の流るゝ樣に治りつゝありどもりは傳染するよと云ふ諺の如く或る動機でどもりになる人がある如く治ると信ずれば案外早いものなり今日は最早吃音に苦しむに及ばず一日も早く此新療法を實行されよ吃音の原因を始め治療法の内容を委しく爰に說明したき紙面に限りあり殘念なり希望者は
東京市外西大久保町 東京吃音藥院 ハガキで御申込あれ 無料にて詳細親切に回答す

腹科内科 小兒科 京城黄金町三丁目赤門通(電話二四四三番) 本田醫院 入院隨意 院長 本田建義

男の生殖器病
生殖器發育不完全で包莖とか陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱なぞの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と頓服藥を併用する時は一回毎に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讚湧くが如し ハガキで申込あれ 說明書無代寄送す直接來所者には懇切に説明す 入院設備あり ▲宿泊旅館紹介 東京神田か…町五一東京眞空療法研究所(電話神田七二二番)

酒井婦人病院 京城永樂町二丁目(商品陳列舘裏門通) 入院隨意 電話二六〇一〇八番

攝津灘 大塚釀造所吟製 金露 京城本町二丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一三七九二 一〇九番

資本金 五百萬圓 頭取 安田善三郎 京城本町壹丁目 株式會社 百三十銀行 京城支店 電話長五八番 一九四番 振替貯金京城一三番
一銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
一爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

最上醤油 朝鮮仁川港 高杉醤油釀造場

賛化病院 京城本町二丁目 電話二四二番 内科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り無料施療す 醫學博士 古城憲治 岡山 醫學士 上野亮藏

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に應候 京城日報社 寫眞製版部

日本郵船仁川出帆

- ○大連、大沽、牛莊行
  - 相模丸 十一月九日 正午出帆
  - 高砂丸 十月十九日 正午出帆
  - 三河丸 十月三十日 正午出帆
- 仁川海岸町一丁目 電話七番 堀 回漕部

尼崎汽船仁川出帆

- ○君が代丸 月日後四時大阪直行
- ○群山、木浦、釜山、下關、神阪行
  - 大有丸 十月十七日 後四時出帆
  - 神代丸 十月廿四日 後四時出帆
  - 秀吉丸 十月廿一日 後四時出帆
- 仁川海岸通一丁目 電話五十九番 杉 回漕部

共同汽船仁川出帆

- 阿波共同丸 ○芝罘、大連行 關東都督府命令航路
  - 第十共同丸 十月十五日 後四時入港 十月十七日 正午出帆
- 朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡運輸取扱仕候 大連にては青島行定期船接續荷客共直航船と同運賃にて通し切符發賣取扱仕候
- 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
- 仁川代理店 泰(日?)町(電話二四七番) 田口回漕部
- 元山代理店 南大門(電話二六八・二〇七) 河村運送店
- 京城取次店

大阪商船仁川出帆

○外航路所関航路遠洋航路を除く 関連絡線乗船の際は五分前以て連絡切符發賣仕候

- ○群山、木浦、釜山、關門、神阪行
  - 天智丸 十月二十日 後五時出
  - 安東丸 十月十四日
  - 濟州丸 十月廿四日
- ○木浦、釜山、巖原、郷の浦、長崎行
  - 信濃川丸 十月二十日 後二時出
  - 信濃川丸 十一月七日
- ×群山、釜山、横濱行
  - 福州丸 十一月三日 後二時出
  - 潮州丸 十月廿一日
- ○木浦、關門、神戸、大阪行
  - 達州丸 十月十三日 後二時出
- ○釜山、横濱行
  - 福州丸 十月九日 正午出帆
- ○鎭南浦、大連行
  - 信濃川丸 十月十五日 後二時出
  - 信濃川丸 十一月二日
- ○大連直行
  - 福州丸 十月廿八日 正午出帆
  - 潮州丸 十月廿七日
- ○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行
  - 薩摩丸 十月十六日 正午出帆
- ○淸津、浦潮行(元山出帆)
  - ▲印ハ城津西湖津ニ寄港 浦潮不寄港
- ○安平、打狗行(大連出帆)
  - ▲宮島丸 十月廿六日 後二時出
  - ○上海、基隆 湖北丸 十月十二日 後四時出
  - ○基隆丸 十月十六日 前六時出
- 御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との間の連絡切符發賣仕候 ●御乘船の際は一時間前迄に乘船願上候 ●〇印は船客荷貨共取扱可申候 ×印は貨物のみ取扱ひ申候
- 切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番・二五〇番 京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番
- ●中國四國沿岸各港船客に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆

- 本社 電話長一九五二番二一三二番 鐵道會社及社外船と荷客連絡輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願候
- 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)
- ○全羅丸 十月廿八日 ○京畿丸 十月十八日 ○黄海丸 十月廿日 ○咸鏡丸 十月十三日 釜山發 門司より釜山各港寄港雄基間航路
- ○穩城丸 十月十九日 ○昌平丸 十月十七日 ○鏡城丸 十月十四日 元山發 元山より各港經由雄基行
- ○忠淸丸 十月二十日 ○平壤丸 十月十二日 元山發 城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行
- ○盈徳丸 十月 日 釜山發 甘浦九龍里浦項各港寄港鬱陵島行
- ○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 釜山發 浦項發 長生浦方魚津寄港
- ○三浦丸 十月 日 釜山發 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港
- ○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發 各港經由麗水行(三日目一回水浦行)
- ○順天丸 三日目毎ニ 木浦發 各港經由麗水より釜山行ニ接續
- ○慶興丸 十月十七日 木浦發 各港經由濟州島行西廻
- ○慶興丸 十月十二日 木浦發 南多島海列島行(月三回)
- ○公州丸 十月十四日 木浦發 各港經由濟州島行(東廻)
- ○宗信丸 十月十七日 仁川發 海州他各港經由、德洞又は白翎島行
- ○江原丸 十月十八日 仁川發 青島大連芝罘行
- ○麗水丸 ○晉州丸 十月十二日 十月十八日 仁川發 各港經由木浦行
- ○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發 江華島、海州行

汽船釜山出帆廣告

- ○立神丸 門司、神戸、大阪行 月 日後五時出帆
- ○立神丸 元山、清津、浦鹽行 月 日後十時出帆
- ○小倉丸 元山、城津、浦鹽行 月 日後十時出帆
- ○第三翠平丸 元山、西湖、新浦、城津、清津行 月 日後六時出帆
- ○第三翠平丸 門司、宇品、神戸、大阪行 月 日後六時出帆
- 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
- ○天眞丸 毎月一日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
- 本船取扱店 釜山港埋立新町 大池回漕部

泥棒大工 熊本縣從託部樹手 村生れの六工南保寺(ミ)といふ前科